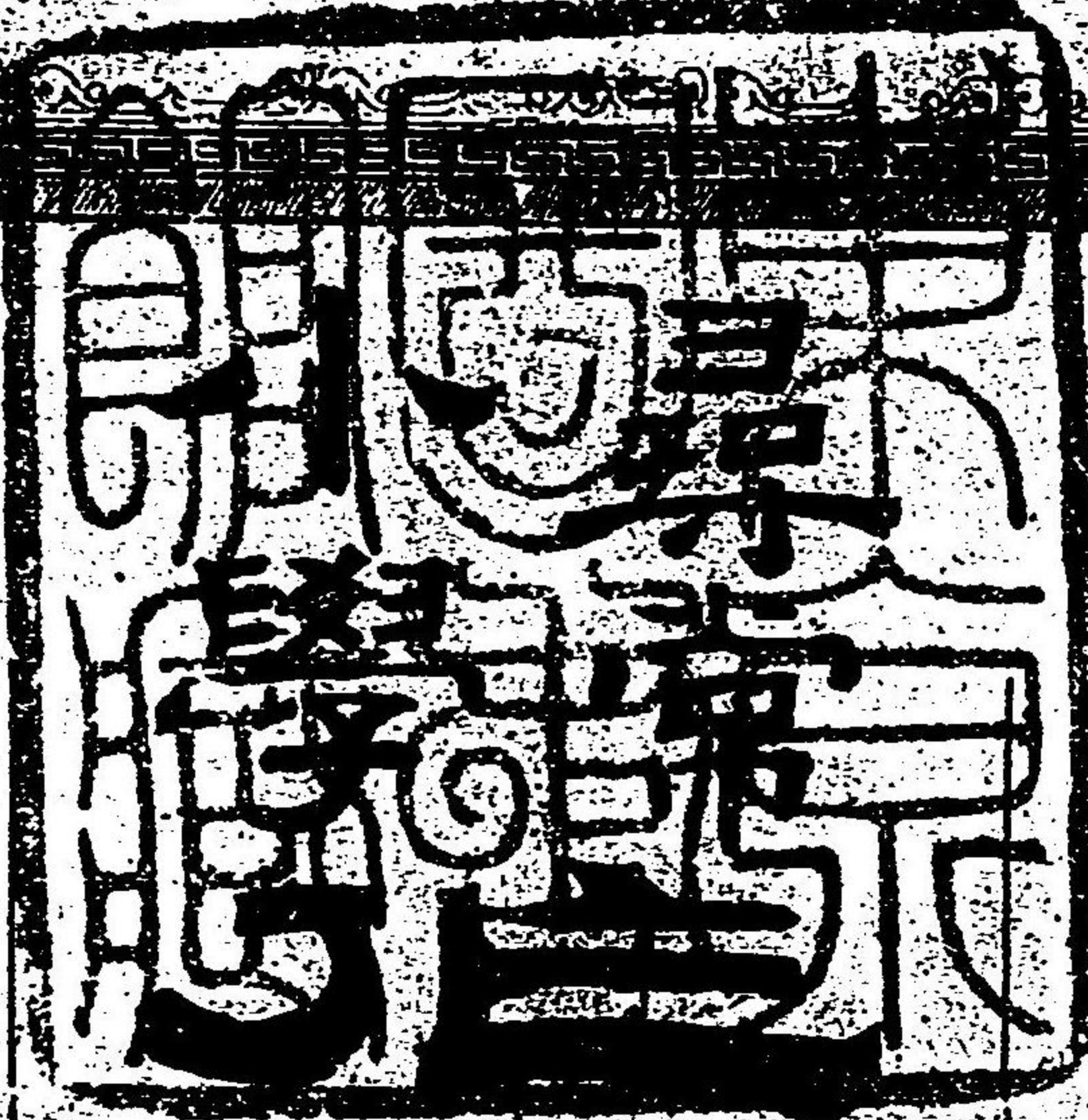


特 19  
958

萩井重次著述



文藝叢書  
教授細目  
軌範

版權所有  
大庭氏藏版



作文教授細目規範

例言數則

一本書ハ尋常小學校作文科教授細目規範ト稱シ一學年ヨリ四學年ノ終ニ至ルマデ順序ヲ正シ文法ニ依リ易ヨリ難ニ簡ヨリ繁ニ步ヲ進メタリ、

一本書ハ余ガ校及ヒ外數校ノ爲ニ教授細目ヲ編纂セシ者ヲ採リ誤謬ヲ正シ缺漏ヲ補ヒシ者ナレバ何レノ校ニテモ直ニ此ノ細目ヲ以テ教授シ得ル實際的ノ者ナリ、

一本書ニ於テ一步ト稱スルハ凡ソ二週間練習ノ見込ヲ以テセシ者ナレバ生徒進步ノ遲速ニヨリ教授ノ任ニ當ル者宜シク配量シテ進退セシムベシ、

一本書教授ノ方法ハ最初ニ聊カ説ク所アルヲ以テ每歩必ズシモ説明ヲ加ヘズ要スルニ教授者タル者常ニ新規ノ方法ヲ以テ變換更革シ愉快ノ中ニ練習セシムベシ、

一本書ハ余ガ生徒用トシテ作文自修書ヲ著ハセル者ト表裏一致ヲナス者ナレバ教授者宜シク参考トシテ該書ト對照應用セラルベシ、

一余此書ヲ編纂スル以上説ク處ノ如シト雖モ淺學菲才瑕瑾缺點頗ル多カラシ、大方ノ教育家幸ニ指摘訂正セラルレバ幸甚シ、

明治二十六年七月

著者謹誌

# 表 覽 一 範 軌 目 細 授 教 文 作

第一學年		第二學年	
第一歩	片假名清音ヲ以テ單語ヲ綴ラシム	第一歩	第一學年ニ修メシ各種單語ヲサシム
第二歩	片假名濁音ヲ以テ單語ヲ綴ラシム	第二歩	單文中ニ形容詞ト副詞ト者ヲ連接セシム
第三歩	片假名音便ヨリ生ズル單語ヲ綴ラシム	第三歩	動詞又ハ形容詞ノ語尾ニ二單文ヲ連接スベシ
第四歩	片假名ニテ半濁音及ビ促音ヨリ生ズル單語ヲ綴ラシム	第四歩	單句ヲ以テ形容動作ヲ者ヲ練習セシム
第五歩	ビ辭ヲ以テ名詞ト名詞トヲ連接セシム	第五歩	前各歩ノ應用練習ヲナシ
第六歩	拗音及ビ字音ニテ單語ヲ綴ラシム	第六歩	單句ヲ以テ賓格名詞ヲ練習セシム
第七歩	の辭ヲ以テ物主格ノ名詞ト他ノ名詞トヲ連接スベシ	第七歩	單句中ニ代名詞ヲ有スル者ヲ練習セシム
第八歩	形容詞ト名詞トヲ連接スベシ	第八歩	前各歩ノ應用練習ヲナシ
第九歩	に辭ヲ以テ名詞ト名詞トヲ連接セシム	第九歩	ト、モ、フ、連接及ビ接続スベシヲ名詞ヲ連接スル
第十歩	數量形容詞ト名詞トヲ連接セシム	第十歩	ニ、シ、テ、ナル、詞ヲ以テ連接セシム
第十一歩	この、その等及ビ我、汝等ノ代名詞ト名詞ヲ連接セシム	第十一歩	又、或ハ、等ノ詞ヲ以テ連接セシム
第十二歩	ハ辭ヲ以テ主格名詞ト形容動詞トヲ連接スベシ	第十二歩	前各歩ノ應用練習ヲナシ
第十三歩	ヨ辭又ハモ辭ヲ以テ名詞ト動詞トヲ連接スベシ	第十三歩	主格名詞一個ヲ省キ一接セシム
第十四歩	ナ辭ヲ以テ物主格名詞ト動詞トヲ連接スベシ	第十四歩	動詞二個ヲ重テシ者ヲナシ
第十五歩	ニ辭又ハハ辭ヲ以テ賓格名詞ト動詞トヲ連接セシム	第十五歩	動詞ノ語尾ヲ變シ更ニ二單文ヲ連接セシム
第十六歩	感詞ト他ノ詞トヲ連接セシム	第十六歩	前各歩ノ應用練習ヲナシ
第十七歩	動詞ヨリ來ルル形容詞ト名詞トヲ結合セシム	第十七歩	シ、テ、辭ヲ以テ二單文ヲナシ
第十八歩	ニテ辭ヲ以テ賓格名詞ト動詞トヲ連接セシム	第十八歩	トモ辭ヲ以テ二單文ヲナシ
第十九歩	各種ノ主格賓格ノ名詞二個以上ト動詞トヲ連接セシム	第十九歩	トモ辭ヲ以テ二單文ヲナシ
第二十歩	前各歩ノ單語若クハ單文ニ副詞ヲ添ユベシ	第二十歩	前各歩ノ應用練習ヲナシ
第二十一歩	前各歩ノ單語若クハ單文ニ形容詞ヲ添ユベシ	第二十一歩	前各歩ノ記事文ニテナシ
第二十二歩	前各歩ノ單語若クハ單文ニ形容詞ヲ添ユベシ	第二十二歩	二學年最初ヨリノ應用
		第二十三歩	二學年最初ヨリノ應用
		第二十四歩	二學年最初ヨリノ應用

學年

第一學年

第二學年

第三學年

第四學年

年ニ修メシ各種單文ノ練習セシム	第一歩	日用書類ニテ候カル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ	第一歩	日用書類ニテ候共、候得接續詞ノ用法ヲ練習セシム
下ニ形容詞ト副詞トヲ有スルニ接續セシム	第二歩	日用書類ニテ上げ候ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ	第二歩	日用書類ニテ然レ、然レ接續詞ノ用法ヲ練習セシム
ハバ形容詞ノ語尾ヲ變テテハテ接續スベシ	第三歩	記事文ニテハ辭ヲ用ヒ單文ヲ連接セシム	第三歩	記事文ニテ然レ、然レ接續詞ノ用法ヲ練習セシム
以テ形容動作ヲ現ハセル練習セシム	第四歩	日用書類ニテ兼候、ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ	第四歩	日用書類ニテ陳バ、備、等語ノ用法ヲ練習セシム
以テ應用練習ヲナサシム	第五歩	三單文以上ヲ連接シテ一文トナスベシ	第五歩	他ノ助動詞ヲ省キテ單文トナス
以テ資格名詞ヲナス者ヲ練習セシム	第六歩	日用書類ヲテ候ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ	第六歩	日用書類ニテ親戚、尙接續詞ノ用法ヲ練習セシム
下ニ上下、左、右、等接續詞ノ練習ヲナサシム	第七歩	日用書類ニテ間ヒク候ナル助動詞ノ用法ヲ練習セシム	第七歩	日用書類ニテ先ハ、旁、左、右、等接續詞ノ用法ヲ練習セシム
以テ應用練習ヲナサシム	第八歩	記事文ニテ故ニ、爲ニ、等ノ接續詞ヲ以テ單文ヲ連接セシム	第八歩	記事文ニテ諸動物ノフナリ
以テ等ノ詞ヲ以テ名詞ヲ連接セシム	第九歩	日用書類ニテ置キ候、ナル助動詞ノ用法ヲ練習セシム	第九歩	日用書類ニテ招待文ヲ作ル
以テ應用練習ヲナサシム	第十歩	前各歩ノ日用書類ノ應用練習	第十歩	日用書類ニテ招待文ヲ作ル
以テ應用練習ヲナサシム	第十一歩	前各歩ノ日用書類ノ應用練習	第十一歩	日用書類ニテ誘引文ヲ作ル
以テ應用練習ヲナサシム	第十二歩	前各歩ノ記事文ノ應用練習	第十二歩	記事文ニテ諸植物ノフナリ
以テ應用練習ヲナサシム	第十三歩	日用書類ニテ居リ候、ナル助動詞ノ用法ヲ練習セシム	第十三歩	日用書類ニテ贈與文ヲ作ル
以テ應用練習ヲナサシム	第十四歩	記事文ニテトテ、ニハ、等ノ接續詞ヲ以テ單文ヲ連接セシム	第十四歩	日用書類ニテ見舞文ヲ作ル
以テ應用練習ヲナサシム	第十五歩	日用書類ニテ相成り候、ナル助動詞ノ用法ヲ練習セシム	第十五歩	日用書類ニテ祝賀文ヲ作ル
以テ應用練習ヲナサシム	第十六歩	日用書類ニテ候由、ナル接續詞ノ用法ヲ練習セシム	第十六歩	記事文ニテ器械器具ノフナリ
以テ應用練習ヲナサシム	第十七歩	記事文ニテ主格ヲ現ハス辭ヲ省キテ文勢ヲ強ムルヲ練習セシム	第十七歩	日用書類ニテ返事謝禮ノフナリ
以テ二單文ヲ連接セシム	第十八歩	日用書類ニテ候間、候ニ付、ナル接續詞ノ用法ヲ練習セシム	第十八歩	日用書類ニテ告知文ヲ作ル
以テ二單文ヲ連接セシム	第十九歩	日用書類ニテ乍ら、ナル詞ノ用法ヲ練習セシム	第十九歩	日用書類ニテ依頼文ヲ作ル
以テ二單文ヲ連接セシム	第二十歩	記事文ニテ又、或ハ、等ノ接續詞ヲ以テ單文ヲ連接セシム	第二十歩	記事文ニテ地理人物ノフナリ
以テ應用練習ヲナサシム	第二十一歩	日用書類ニテ趣、儀、事、件、等ノ代名詞ノ用法ヲ練習セシム	第二十一歩	日用書類ニテ返濟文ヲ作ル
以テ記事文ニテ二單文以上ヲ練習セシム	第二十二歩	日用書類ニテられ候、させ候、ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ	第二十二歩	日用書類ニテ問合セ文ヲ作ル
以テ最初ヨリノ應用練習ヲナサシム	第二十三歩	前各歩ノ日用書類ノ應用練習	第二十三歩	日用書類ニテ催促文ヲ作ル
以テ最初ヨリノ應用練習ヲナサシム	第二十四歩	前各歩ノ記事文ノ應用練習	第二十四歩	記事文ニテ庶物ノフナリ

第三學年

第四學年

第一步

日用書類ニテ候カル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ

第一步

日用書類ニテ候共、候得其ナル接続詞ノ用法ヲ練習セシム

第二步

日用書類ニテ上げ候ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ

第二步

日用書類ニテ候ハバ、候ハハ、ノ用法ヲ練習セシム

第三步

記事文ニテハ辭ヲ用ヒ單文ヲ連接セシム

第三步

記事文ニテ然レバ、然レバ、等ノ接続詞ノ用法ヲ練習セシム

第四步

日用書類ニテ度候、ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ

第四步

日用書類ニテ陳バ、倍、等ノ發端語ノ用法ヲ練習セシム

第五步

日用書類ニテ兼候、ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ

第五步

他ノ助動詞ヲ省キテ單文ヲ連接セシム

第六步

三單文以上ヲ連接シテ一文トナスベシ

第六步

日用書類ニテ爾モ、尙又等ノ接続詞ノ用法ヲ練習セシム

第七步

日用書類ニテ候ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ

第七步

日用書類ニテ先ハ、旁、右等ノ結束文語ヲ練習セシム

第八步

日用書類ニテ間ヒ候ナル助動詞ノ用法ヲ練習セシム

第八步

記事文ニテ諸植物ノ下ヲ記スル

第九步

記事文ニテ故ニ、爲ニ、等ノ接同詞ヲ以テ單文ヲ連接セシム

第九步

日用書類ニテ招待文ヲ作ラシム

第十步

日用書類ニテ置キ候、ナル助動詞ノ用法ヲ練習セシム

第十步

日用書類ニテ見舞文ヲ作ラシム

第十一步

前各歩ノ日用書類ノ應用練習

第十一步

記事文ニテ諸植物ノ下ヲ記スル

第十二步

前各歩ノ記事文ノ應用練習

第十二步

日用書類ニテ贈與文ヲ作ラシム

第十三步

日用書類ニテ居リ候、ナル助動詞ノ用法ヲ練習セシム

第十三步

日用書類ニテ見舞文ヲ作ラシム

第十四步

記事文ニテトテ、ニハ、等ノ接続詞ヲ以テ單文ヲ連接セシム

第十四步

日用書類ニテ見舞文ヲ作ラシム

第十五步

日用書類ニテ相成リ候、ナル助動詞ノ用法ヲ練習セシム

第十五步

日用書類ニテ祝賀文ヲ作ラシム

第十六步

日用書類ニテ候由、ナル接続詞ノ用法ヲ練習セシム

第十六步

記事文ニテ器械器具ノ下ヲ記セシム

第十七步

記事文ニテ主格ヲ現ハス辭ヲ省キテ文勢ヲ強ムル下ヲ練習セシム

第十七步

日用書類ニテ返事謝禮ノ文ヲ作ラシム

第十八步

日用書類ニテ候間、候ニ付、ナル接続詞ノ用法ヲ練習セシム

第十八步

日用書類ニテ報知文ヲ作ラシム

第十九步

日用書類ニテ乍ら、ナル詞ノ用法ヲ練習セシム

第十九步

日用書類ニテ依頼文ヲ作ラシム

第二十步

記事文ニテ又、或ハ、等ノ接続詞ヲ以テ單文ヲ連接セシム

第二十步

記事文ニテ地理人物ノ下ヲ記セシム

第二十一步

日用書類ニテ趣、儀、事、件、等ノ代名詞ノ用法ヲ練習セシム

第二十一步

日用書類ニテ返濟文ヲ作ラシム

第二十二步

日用書類ニテられ候、せ候、ナル助動詞ノ用法ヲ授クベシ

第二十二步

日用書類ニテ問合セ文ヲ作ラシム

第二十三步

前各歩ノ日用書類ノ應用練習

第二十三步

日用書類ニテ權促文ヲ作ラシム

第二十四步

前各歩ノ記事文ノ應用練習

第二十四步

記事文ニテ庶物ノ下ヲ記セシム

作文教授細目規範

目次

(一) 作文科教授ノ目的……………一

(二) 作文教授ノ順序……………二

(三) 文題ヲ撰ブ注意……………三

(四) 作文教授方法……………六

第一學年

第一步ヨリ第四步ニ至ル片假名單語ノ綴リ方……………一二

第五步トノ連接……………一五

第六步 拗音及ビ字音ノ綴リ方……………全

第七步 のノ連接……………一六

第八步 形容詞ト名詞ノ連接……………全

第九步 への連接……………一七

第十步 數量形容詞ト名詞ノ連接……………全

第十一步 この、その我汝等ノ代名詞ト名詞ノ連接……………一八

第十二步 がノ辭ヲ以テ名詞ト動詞ノ連接……………全

第十三步 はノ辭ヲ以テ主格名詞ト形容動詞ノ連接……………一九

第十四步 ヲ又ハモノ辭ヲ以テ名詞ト動詞ノ連接……………全

第十五步 ナノ辭ヲ以テ物主格名詞ト動詞ノ連接……………二〇

第十六步 ニ又ハへの辭ヲ以テ賓格名詞ト動詞トノ連接……………全

第十七步 感詞ノ用ヒ方……………全

第十八步 動詞ヨリ來レル形容詞ト名詞トノ結合……………二三

第十九步 ニテノ辭ニテ賓格名詞ト動詞ノ連接……………全

第二十步 各種ノ主格賓格名詞二個以上ト動詞ノ連接……………二三

第二一步 前各步ノ單文ニ副詞ヲ添ユ……………二四

第二二步 前各步ノ單文ニ形容詞ヲ添ユ……………全

第二學年

第一歩 第一學年ノ復習……………二五

第二歩 形容詞ト副詞ヲ有スル者……………二六

第三歩 動詞又ハ形容詞ノ語尾ヲ變シテ二單文ヲ連接スル者……………二七



範規目細授教文作

目次

四

第四步 單句ヲ以テ形容動作ヲ現ハセル者……………二八

第五步 前各歩ノ應用練習……………全

第六步 單句ヲ以テ賓格名詞ヲナス者……………二九

第七步 單句中ニ代名詞ヲ有スル者……………三〇

第八步 單句中ニ上、下、左、右等ノ接續詞ヲ有スル者全……………三一

第九步 前各歩ノ應用練習……………三二

第十步 トモノノ連接及ニシテノ連接ヲ用ヒズシテ連接スル者全……………三三

第十一步 ニシテノ連接……………三三

第十二步 又或ハ等ヲ以テ連接スル者……………三四

第十三步 前各歩ノ應用練習……………三五

範規目細授教文作

目次

五

第十四步 主格名詞一個ヲ省キ二單文ヲ連接スル者……………三六

第十五步 動詞二個ヲ重キシ者……………三七

第十六步 動詞ノ語尾ヲ變シテ辭ヲ添ヘテ連接スル者……………三八

第十七步 前各歩ノ應用練習……………三九

第十八步 シテノ連接……………四〇

第十九步 トモノノ連接……………四一

第二十步 ドモノノ連接……………四二

第二十一步 前各歩ノ應用練習……………全

第二十二步 二單文以上ノ連接……………四三

第二十三步 二學年最初ヨリノ應用練習……………四四

範規目細授教文作

第廿四步	二學年最初ヨリノ應用練習	四五
第三學年		
第一步	日用書類ニテ候ノ用法	四六
第二步	全 上げ候ノ用法	四七
第三步	記事文ニテばノ連接	四八
第四步	日用書類ニテ度ク候ノ用法	四九
第五步	全 兼候ノ用法	全
第六步	三單文以上ノ連接	五〇
第七步	日用書類ニテべく候ノ用法	五一
第八步	全 間じ候ノ用法	五二

目次

六

範規目細授教文作

第九步	記事文ニテ故ニ爲ニノ連接	五三
第十步	日用書類ニテ置き候ノ用法	五四
第十一步	前各歩ノ日用書類ノ應用練習	五五
第十二步	前各歩ノ記事文ノ應用練習	五六
第十三步	日用書類ニテ居り候ノ用法	五七
第十四步	記事文ニテトテニハノ連接	五八
第十五步	日用書類ニテ相成り候ノ用法	五九
第十六步	全 候由ノ用法	六〇
第十七步	記事文ニテ主格ヲ現ハス辭ヲ省キ文勢ヲ強ムル	六一
第十八步	日用書類ニテ候間候ニ付ノ用法	六二

目次

七

第十九步 日用書類ニテ乍らノ用法……………六四

第二十步 又或ハ等ノ詞ニテ單文ヲ連接スル者……………六五

第二十一歩 日用書類ニテ趣儀事件等ノ用法……………六六

第二十二歩 全 ちられ候、させ候ノ用法……………六八

第二十三歩 前各歩ノ日用書類ノ應用練習……………六九

第二十四歩 前各歩ノ記事文ノ應用練習……………七〇

第四學年

第一歩 日用書類ニテ候共候得共ノ用法……………七一

第二歩 全 候ハ候候ハ、ノ用法……………七二

第三歩 記事文ニテ然レ然レハ、ノ連接……………七三

第四歩 日用書類ニテ隨テ次にノ用法……………七四

第五歩 全 陳ば、倍等ノ發端語ノ用法……………七六

第六歩 他ノ動詞ヲ省キテ單文ヲ連接スル者……………七七

第七歩 日用書類ニテ就ては、尙又ノ用法……………七八

第八歩 全 先ハ、旁、右等ノ結束語ノ用法八〇

第九歩 記事文ニテ諸動物ノコナ記スルコ……………八一

第十歩 日用書類ニテ招待文ノ練習……………八三

第十一歩 全 誘引文ノ練習……………八五

第十二歩 記事文ニテ諸植物ノコナ記スルコ……………八六

第十三歩 日用書類ニテ贈與文ノ練習……………八八

第十四步	全	見舞文ノ練習……………	八九
第十五步	全	祝賀文ノ練習……………	九一
第十六步	記事文ニテ器械器具ノヲ記スルヲ……………		九三
第十七步	日用書類ニテ返事謝禮文ノ練習……………		九四
第十八步	全	報知文ノ練習……………	九七
第十九步	全	依頼文ノ練習……………	九八
第二十步	記事文ニテ地理人物ノヲ記スルヲ……………		九九
第二一步	日用書類ニテ返濟文ノ練習……………		一〇二
第二二步	全	問合セ文ノ練習……………	一〇四
第二三步	全	催促文ノ練習……………	一〇五

附錄

第二四步	記事文ニテ庶物ノヲ記スルヲ……………	一〇七
------	--------------------	-----

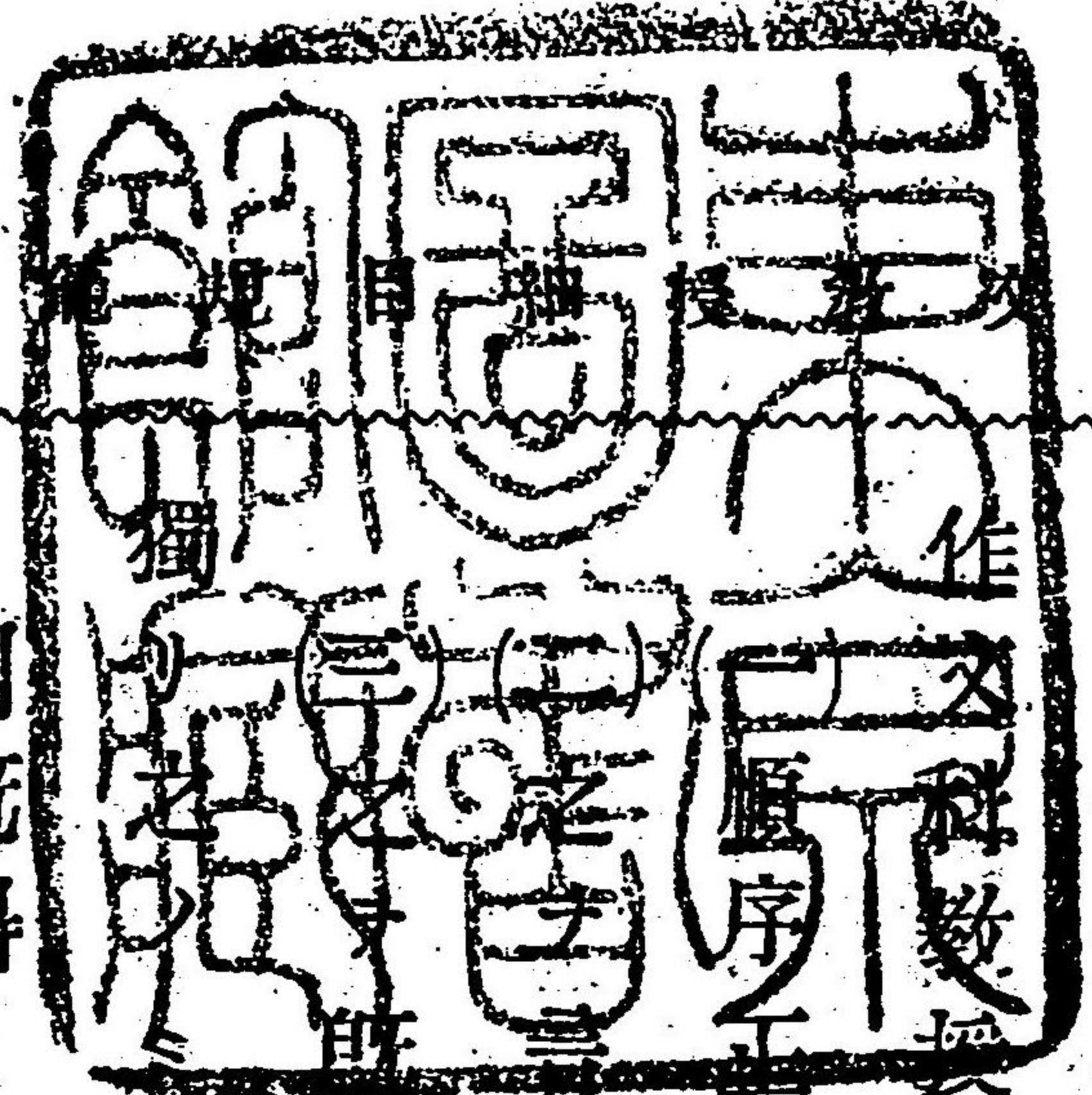
作文教授細目規範目次終

作文教授細目規範

萩井重次 著

作

一 作文科教授ノ目的



作文科教授ノ目的ハ

順序正ク思想ヲ構造シ、

語ニ表現シ、

知ノ文字ニテ發表スルニアリ、

ナラズ間接ニハ

(四) 既得ノ知識ヲシテ其記憶ヲ深カラシメ、

(五) 物ヲ分解シ又ハ總括スルノ概念ヲ養ヒ、

作文教授ノ目的

作文教授ノ順序

二

(六) 他學科トノ連絡ヲナスニ大効アリ、

(二) 作文教授ノ順序

第一設題ニ關スル凡テノ事柄即チ形狀、性質、住所、種類、

効用、等ノ諸件ヲ蒐集スルコト

第二蒐集セシ諸件ヲ順序正ク秩序アル思想トナスベ

キコト

第三巧ミニ言語ニ表現スルコト

第四之ヲ文字文句ニ改現スルコト

第五之ヲ總括シテ一文章ヲ組成スルコト

第六諸學科ニテ得タル知識ヲ既得ノ記憶トシテ發

表セシムルコト

第七文ノ書キ方、体裁ニ注意スルコト、

(三) 文題ヲ撰ブ注意

一 題ヲ擇ムニハ生徒ノ親ク見聞セシ者若クハ讀本地

理等ノ學科ニテ得タル知識ヲ量リ凡テ既知ノ事物

ニ限ルコト、

二 初步ノ題目ハ成ルベク其區域ノ狹キ者ヲ撰ムベシ、

三 實在的ノ題ヲ練習シテ後無形的ノ題ニ及ボスベシ、

四 日用文題ハ主トシテ實地必要ヲ感ズル題ニ限ルベ

シ、

文題ヲ撰ブ注意

三

文題ヲ撰フ注意

四

- 五 文題ノ主意ハ最初ニ生徒ニ確知セシムルヲ要ス、
- 六 文章ヲ作ラシムルニハ平易ナル文字ヲ以テシ其思想ヲ發表スルニ十分ナラシムベシ、
- 七 日用文ヲ作ラシムルニハ勉メテ繁縟ナル文句ヲ省キ短單明了ニ題意ノアル所ヲ誤ラザラシムベシ、
- 八 文ヲ作ルニ作者心中ニ明白ナル觀念ヲ有スルニ至ラザレハ文ヲナシ難シ、故ニ容易ク筆ヲ下サシムベカラズ、文題ヲ見ルヤ否ヤ直ニ筆ヲ探ルガ如キ弊ハ除去セザルベカラズ、
- 九 文章ノ工夫ハ生徒各自ヨリ開發セシムベシ、教師ヨ

- リ注入スベカラズ、
- 十 他人ノ句ヲ竊ミ章ヲ擬スル如キハ十分注意シテ遏止スベシ、
- 十一 返リ字ハ漢文ヲ讀ミ得ザル生徒ニハ不適當ナリ特更ニ授クルヲ要セズ、
- 十二 男女ノ文体ハ同一ナラシムベシ、
- 十三 日用文ハ凡テ行書ニ平假名ヲ用ヒ、記事文ハ凡テ楷書ニ片假名ヲ用ヒシムベシ、
- 十四 書法ハ極メテ鄭重ニ且ツ列正カラシムベシ、
- 十五 既修ノ文章ハ復習セシメテ後他ノ題ニ及サシム

文題ヲ撰フ注意

五

(四) 作文教授方法

凡ソ何レノ學科ヲ教授スルニモ新規ノ方法ヲ屢交換シテ生徒ヲシテ倦厭ノ心ヲ生ゼザラシムベシ殊ニ作文科ヲ教授スルノ困難ナルニ於テオヤ宜シク注意ヲ加フベキナリ今其方法ヲ畧説スレバ左ノ如シ、

第一法實物若クハ摸畫ヲ示シ其物名形狀効用等ヲ假名又ハ漢字交リ文ニテ記載セシメ或ハ教師ノ口唱セシコトヲ記セシム是レ幼年生ニ授ルニハ屢用ユル方法ナリ、

例ハ土瓶ヲ示シ是ハ何ナリヤト問ヒ其正答ヲ得タレバ土瓶ハ何ヲナス者ナリヤト問ヒ水ヲ容ル、器ナリトノ正答ヲ得然レバ假名ニテ(或ハ漢字交リニテ)土瓶ハ水ヲ容ル、器ナリト書セヨ、或ハ他ノ事ヲ口唱ニテ書セシム、

第二法空處ヲ存シタル一文若クハ一句ヲ塗板ニ書シ之ニ適當ナル文字ヲ填充セシム、

例ハ犬ハ……ニ畜フ獸ニシテ能ク……ナル一文句ヲ是レニ適當ノ文字ヲ充タシメ、即チ犬ハ人。家。ニ畜フ獸ニシテ能ク夜ヲ守ルトナスガ如シ、



作文教授方法

第三法 テニオハ、若クハ誤字アル文章ヲ塗板ニ書シ生徒  
ヲシテ之ヲ訂正セシム、

例ハ「櫻ハ春花開ク者ニシテ人ヲ觀ル者ナリ」ナリノ一  
文ヲ書シ春ハ誤リニシテ春ト改メシメ、人ヲ觀ル者ヲ  
改メシメテ人ノ觀ル者ナリト訂正スルガ如シ、

第四法 作ルベキ事項ヲ平易ニ談話シテ生徒ヲシテ之ヲ  
文話若クハ日用文語ニ訂正セシム、

例ハ「ヒバケハ、木ヤ金デユシラヘテアツテ、火ヲ容レル  
者デアリマス、ト、口話シテ之ヲ文語トナシ即チ火鉢ハ  
木金ニテ造リ火ヲ容ル、者ナリ、トナスガ如シ、

又ゴベウキハ、ドウデアリマスカ、オタヅチマウシマス、  
ヲ日用文語ニ改メシメテ御病氣ハ如何ニ候ヤ御尋申  
上候トナスガ如シ、

第五法 或ル題ニテ作文セシムルニ入用ノ文字數個ヲ適  
宜塗板ニ書シ之ヲ用ヒテ文ヲ爲サシム、

例ハ「鯛」ナル文題ヲ掲ゲ、之レニ入用ノ文字トシテ、美  
麗、味佳、海、棲、等ノ文字ヲ示シテ作文セシメ即チ鯛ハ海  
ニ棲ム魚ニシテ、形美麗ニ味又佳ナリト作ラシム、

第六法 文題ヲ與ヘテ生徒各自ニ作文セシメ教師ハ、其中  
ノ最モ善キ文又ハ最モ惡シキ文ヲ塗板ニ書シ、教師生

作文教授方法

徒ト共ニ之ヲ批評シツ、訂正ス、此法ハ興味深クシテ理解力ヲ養フコトモ又大ナリ、

第七法 文題ヲ與ヘテ毫モ説明セズ生徒自身ノ思考力ニヨリ作文セシム、此法ハ嘗テ課シタル題若クハ前日授ケシモノト同種類ノ題ニ限ルベシ、

第八法 實物若クハ摸圖ヲ示シ、其形狀ヲ問答シテ一句ヲ塗板ニ書シ其性質ヲ問答シテ又一句ヲ書シ其効用ヲ問答シテ又一句ヲ書シ、而シテ後右ノ單句ヲ連接シテ一文トナサシム、

第九法 或ル文章ヲ塗板ニ書シ之ヲ二種以上ノ文句又ハ

形狀、性質、効用等ノ數部ニ分解セシム、

第十法 或ル一文章ヲ示シ其意味ト文法ヲ解セシメ、後他ノ題ヲ掲ゲテ之ニ模擬シ作ラシム、

第十一法 讀書、修身、地理、歴史等ニ於ケル生徒既修ノ事項ヲ掲出シテ其要點ヲ擧ゲ文ヲ作ラシメ又ハ他人ニ説明スルノ文トシテ作ラシム、

第十二法 新文題ヲ示シ生徒各自ノ思想ニヨリ一句若クハ一文ヲ作ラシム是ハ高級生ニアラザレバ施スベカラズ、

尋常科第一學年

尋常科第一學年

第一學年ニ於テ作文ヲ授クルニハ、實物若クハ摸畫ニヨリ物ノ名、形狀、動作等ヲ假名ニテ綴ラシムベシ、

第一步

一步ハ凡ソ二週間ツ、授クベキ日子ヲ示ス以下同シ

片假名清音ヲ以テ單語ヲ綴ラシム、

例ハ手ヲ示シ、生徒各自ニ答ヘシメ、正シキ答ヲ得タレバ之ヲ文字ニテ現ハスニハ「テ」ナルヲ知ラシメ進ンテ、葉ハ、木キ、蚊カ等ノ一字ヲ以テ名詞ヲ現ハス者ヨリ鳥トリ、紙カミ、等ト次第ニ進メ、三字綴リ四字綴リ等ニ

至ラシム、

第二步

片假名濁音ヲ以テ單語ヲ綴ラシム、

例ハ筆フデ、冢ブタ等ノ二字綴リヲ解セシムレバ、柳ヤナギ、土瓶ドビン、等ヨリ石盤セキバン、算盤ソロバン、等ト次第ニ多字綴リニ及ハシムベシ、

第三步

片假名音便ヨリ變化スル單語ヲ綴ラシム

例ハ家ヲ示シ、之ヲ口ニテイヘバ、イエト聞ユレド、イエト綴ルハ惡クシテイヘト綴ルベシ、即チヘノ字ガエノ

尋常科第一學年

尋常科第一學年

十四

如ク聞ユルナリト示スベシ尙鯛ヲタヒ氷ヲユホリ、  
鶏  
ヲニハトリト綴ルコトヲ説明シテ音便ノ綴リヲ解セシ  
ムベシ、

第四步

片假名ニテ半濁音及ビ促音ヨリ生ズル單語ヲ綴ラシム、

例ババビブペポノ半濁音ヨリ成ル單句、パン、ランプ、ペ  
ン、ピストル等ヲ解セシムレバ、促音即チツマル音ノ働  
キヲ解セシムベシ、喇叭ヲ綴ルニハラッパト書シカッパ、  
イソク等ヲ示シテ充分ニ解セシムベシ、

第五步

と辭ヲ以テ名詞ト名詞トヲ連接セシム、

例バ、生徒ニ筆ヲ示シ、又墨ヲ示シ、後兩方ヲ一度ニ言フ  
トキハ何ト云フ詞ガ中ニ挾ムカタヲ尋テ、ふでとすみ、ト  
ナリト答ヘシム尙、やまとおは、おさとびた、はをりとは  
おま等次第ニ多字ノ綴リヲ授クベシ、

第六步

拗音及ビ字音ニテ單語ヲ綴ラシムベシ、

例バ拗音ニテハ茗荷ヲメウガ箒ヲハウキト綴ラシメ  
字音ニテハ人形ヲニンギヤウ幼稚園ヲエウケエン、蒸  
氣船ヲシヨウキセン、ト綴ラシム、

尋常科第一學年

十五

第七步

の辭ヲ以テ物主格ノ名詞ト他ノ名詞トヲ連接スベシ、

例ハ花ヲ示シ、是レハ何ノ花ナリヤ、梅ノ花ナリト答フ  
レバ、之ヲ假名ニテ、ムメノハナト書クヲ示シ、尙、チユ  
ノメ、カキノミト次第ニ進ンデノ辭ノ働キヲ知ラシム  
ベシ、

第八步

形容詞ト名詞トヲ連接スルヲ授クベシ

例ハよき、あゝき、等ハ形容ノ詞ニテ下ニツク名詞ノ性  
質ヲ現ハスヲ示シ、即チよきことども、あゝきいぬ、くる

き、ずみ、あゝきはる等ヲ綴ラシメ次第ニ高尙ニ進マシ  
ムベシ、

第九步

に辭ヲ以テ名詞ト名詞トヲ連接セシムベシ、

例ハ川ニ架ケタル者ハ何ナリヤト問ヒ、橋ナリト答  
テ得レバ即チあはには、ト綴ラシム尙つくへにはん  
ねこにねづみ、ト次第ニ綴ラシム、

第十步

數量形容詞ト名詞トヲ連接セシム、

例ハ柿ヲ示シ、是レハ何個アリヤト問ヒ、一ツナリト答

レバ即チ一ツノカキト綴ラシム尙三ツノ桃七ツノマ  
リ十びきのひつじ等ヲ綴ラシムベシ、

第十一歩

この、その、等及ビ我汝等ノ代名詞ト名詞ヲ連接セシム

例バこのほんそのまりわたくのくつなんじのつへ  
等ヲ綴ラシメ其他凡テ此等代名詞ト名詞トヲ連接ス  
ルヲ會得セシムベシ、

第十二歩

ガ辭ヲ以テ名詞ト働詞トヲ連接スベシ、

例バ今何が降ツテオルヤ、雨が降ツテ居リマスノ答ヲ

得バ即チアメガフルト綴ルヲ教ヘ尙カゼガフク、ハ  
ナガサク水ガナガル、等次第ニ進マシムベシ、

第十三歩

ハ辭ヲ以テ主格名詞ト形容動詞トヲ連接スベシ、

例バ冬ハサムヒ、者デアリマス、ナルサムヒハ形容詞ニ  
シテデアリマス、ハ働キ詞ナリ、此ノ二ツヲ合シテ冬ハ  
サムシト綴リ形容動詞ヲナスヲ授クベシ尙夏ハア  
ツシ、鳥ハトブ、魚ハオヨグ等ヲ示シ會得セシムベシ、

第十四歩

ヨ辭又ハモ辭ヲ以テ名詞ト動詞トヲ連接スベシ、

例バ虫ヨナケケモノヨ走レ等ノ如ク其物ヲ呼ビテ働  
 キテ現ハスヲ望ムキノ詞ニテ姉ヨカヘリシカ友ヨ  
 アソベナド種々ノ類例ヲ示スベシ又モ辭ハ物ヲ二以  
 上重テ其一ヲ云フキノ詞ニシテ雨モフラン風モフ  
 カン小兒モユクベシ等ノ如シ、

第十五步

ナ辭ヲ以テ物主名詞ト動詞トヲ連接スベシ、  
 例バ本ヲヨム字ヲカク等ノ如クナ辭ニテ人が本ヲヨ  
 ム小兒ガ字ヲカク等ノ主格名詞ヲ省キタル者ニシテ  
 田ヲダガヤス山ヲユヘン等ノ例ヲ示シテ綴ルヲ會

得セシムベシ、

第十六步

ニ辭又ハハ辭ヲ以テ賓格名詞ト動詞トヲ連接セシム、  
 例バ、人がガクカウニ行ク、人が大阪ヘ行ク等ノ主格名  
 詞人がヲ省キタル者ニシテ前歩ノ綴リト大同小異ナ  
 リ尙馬ニノラン、舟ニアソブ、又ハシソルイヘユカン、ヤ  
 シロヘマイラン等ノ類例ヲ示スベシ、

第十七步

感詞ト他ノ詞トヲ連接セシム、

例バ、ア、美シアヲオソロシ、等ノア、アラハ思ハズ知

ラズ發スル感シ詞ナルヲ示シ、尙ヤキタナ、オユハアナ  
ウレシ等ノ類例ヲ以テ悟ラシムベシ、

第十八步

動詞ヨリ來レル形容詞ト名詞トヲ結合セシム、

例バよろこべるハ動詞ナレモ若シよろこべる小兒ト  
云フキハ小兒ノ状態ヲ現ハス者ニシテ形容ノ詞トナ  
ルナリ或ハかなゝめる女子、走れる犬、さきたる花等皆  
之レニ屬ス

第十九步

ニテ辭ヲ以テ賓格名詞ト動詞ヲ連接セシム、

例バくつにて行く、げたにてかへる、等ノ如クにてナル  
辭ニテ、連接スルヲ知ラシメ尙筆にてかけり水にて  
あらばんと、あいにて、これ等ヲ示シテ了解セシムベシ、

第二十步

各種ノ主格賓格ノ名詞二個以上ト動詞トヲ連接セシム

例バ私ハガクカウヘ行く、或ハ小兒ガ本ヲヨム等ノ如  
クハヘガチ等ノ文字ニテ名詞二個ヲ列テ、又ハ動詞ト  
連接スルヲ悟ラシム前各步ニアル所ヲ了解シタラ  
シニハ此步ハ只其應用結合ヲ示セル者ニテ至テ悟リ  
易シ尙馬ハ人ヲノセル、米ハ田ニツクル、鳥ハソラニト



尋常科第一學年

二十四

ア等ノ類例ヲ示スベシ、

第二十一歩

前各歩ノ單語若クハ單文ニ副詞ヲ添ユベシ、

例ハ君ハタクミニワチ、マリス、ボクハ、多ク石筆ヲモテ  
リ等ノ短文ニ於テタクミニ多クハ次キノワチマリス、  
石筆ヲモテリ、ノ詞ヲタシカメル、詞ニテ區域ヲ狹メテ  
明カナラシムルヲ悟ラシムベシ、尙犬ガヨク人ニナ  
ル、猫ハタクミニチヅミヲトル、等ノ類例ヲ示シテ解  
得セシムベシ、

第二十二歩

前各歩ノ單語若クハ單文ニ形容詞ヲ添ユベシ、

例ハ黒キ牛ガクルマチヒケリ、赤キ馬ガ人ヲノセタリ  
等ノ短文ニ於テ黒キ、赤キハ次キノ名詞牛、馬ノ模様ニ  
示セル詞ナリ其他カヒユハ、ウルハシキ系ヲハク、月ハ  
クラキ夜ヲテラス等ノ類例ヲ示シテ理解セシムベシ、

尋常科第二學年

第一歩

第一學年ニテ修メシ各種單文ノ練習ヲナサシム、

第一學年ノ業已ニ終ルト雖モ二學年ノ初メニ於テハ

尋常科第二學年

二十五

務メテ練習復讀ヲナサシムルヲ肝要ナリ即チ米ハ白  
 シ、小豆ハ赤シ或ハ玉ヨ來レ、猫モアソバフウナギハ池  
 川ニスム、又ハシケンハ昨日終レリ、ヒキガヘルハ靜  
 ニハヒユク等一學年ニテ修ムル中尤モ必要困難ナル  
 類例ヲ示シテ生徒ノ記臆心ヲ喚記スベシ

第二步

單文中ニ形容詞ト副詞トチ有スル者ヲ連接セシム、  
 例ハ猫トイヘバ通名詞ナレト、之レニ三毛ノ猫ト云フ  
 形容ノ詞ヲツクレバ限界スル詞トナル又猫ガ鼠ヲ捕  
 レリト云フ詞ニ速ニト云フ副詞ヲ加フレバ鼠ヲ捕ル

遅速ヲ示ス詞ヲ現ハスナリ、即チ三毛ノ猫ガ速ニ鼠ヲ  
 捕レリ、云々即チ單文中ニ形容詞ト副詞トチ添ヘタル  
 ナリ尙良キ生徒ガ一心ニ習字ヲナセリ、雀ハ毎朝、サワ  
 ガシク鳴ク等ノ例ヲ示シテ了解セシムベシ、

第三步

動詞又ハ形容詞ノ語尾ヲ變ジテ二單文ヲ連接スベシ、  
 例ハ山ハ高シ、岡ハ低シ、ノ二單文ヲ連接スルニ、山ハ高  
 シ、ノシ字ヲクニ變ズレバ此二單文ヲ連接スルヲ得  
 即チ山ハ高ク、岡ハ低シトナルナリ、尙紙ノ色ハ白ク、墨  
 ノ色ハ黒シノ連接及ビ獸ハ陸ヲハシリ、鳥ハ空ヲトブ

等多クノ例ヲ示シテ解セシムベシ、

### 第四步

單句ヲ以テ形容動作ヲ現ハセル者ヲ練習セシム、  
 單句ニテ其物ノ形狀ナリ動作ナリヲ現ハス文ニテ例  
 ハバ時計ハ時ヲ計ル道具ナリ、ノ時ヲ計ルハ動作ヲ示  
 セル詞ナリ、金魚ハ美シキ魚ナリ、ノ美シキハ形狀ヲ示  
 セル詞ナリ、此他筆ハ字ヲ書ク道具ナリ、人ノ養ヒヲナ  
 ス食物ハ卵ナリ等ヲ示シテ了解セシムベシ、

### 第五步

前各步ノ應用練習ヲナスベシ、

第二步ヨリ第四步ニ至ル應用練習ノ題ヲ設ケテ復習  
 セシムベシ、例バ春ノ風ハ甚ダ快ク覺ユ、形容詞ト副詞ト單  
文中ニアルノ例  
 きわめて、うつくしき魚ハ金魚なり同上、クビマキハ、首  
 ニマトヒ、バツチハ足ニマトフ、動詞形容詞ノ語尾ヲ變  
シテ單文ヲ連接スル例硯ハ墨ヲ  
 スル道具ナリ、一句ニテ形容動  
作ヲ現ハス例等ヲ復習セシム、

### 第六步

單句ヲ以テ賓格名詞ヲナス者ヲ練習スベシ、

例バ算盤ハ算用ヲナスニ用ヒラル、ノ算用ヲナスニナ  
 ル詞ハ算盤ナル名詞ノ賓格トナリ目的トナル働キヲ  
 示ス者ヲ云フ尙鋤ハ田畑ヲ耕スニ必要ナリ、船ハ海ヲ

渡ルニ用ヒラル、郵便ハ音信ヲナスニ便利ナリ等皆同  
ジ、

第七步

單句中ニ代名詞ヲ有スル者ヲ授クベシ、

例ハ此猫ハ能ク鼠ヲ取ルナラン、此ハ猫ヲ指シタル  
代名詞ナリ其他、彼ノ其ノ等皆代名詞ナリ、又ハ彼ノ遙  
ニ聞ユル者ハ喇叭ノ音ナラン、彼ヲナリ者ナリ皆一  
物ヲ指ス代名詞ナリ、我國ノ都ハ東京ニ定ラルノ我モ  
又代名詞ナリ以下多クノ例ヲ示シテ了解セシムベシ

第八步

單句中ニ上、下、左、右、前、後、内、外、ヨリ、マデ等ノ接續詞ヲ有ス  
ル者ヲ練習セシムベシ、

例ハ屋根ノ上ニ鳩三羽アリ、松ノ下ニ小兒遊ビ居レ  
リ、此本箱ノ中ニ十冊ノ本アリ、女子ハ母ヲ門ノ外  
マデ送レリ、彼ノカユヒノ内ニテ角力アラン、東京ヨ  
リ大阪マデ殆ンド百五十里アリ、學校ヘ行ク前ニ其  
用意ヲナスベシ、等ノ單文中ニ於テ上ニ、下ニ、中ニ、外  
マデ、内ニテ、ヨリ、マデ、前ニ等ハ名詞ト名詞トヲ連接シ  
又ハ名詞ト動詞トヲ連接スル接續詞ナレバ其外多ク  
ノ例ヲ示シテ了解セシムベシ、

第九步

前各歩ノ應用練習ヲナスベシ、

第六歩ヨリ第八歩ニ至ル應用練習ノ題ヲ設ケテ復習

セシムベシ、例ハ蚊帳ハ蚊ヲサクル爲ニ用ヒラル單句中ニ賓格

名詞ヲ現ハス者 かのつ、みにあるものは、むめのきなり單句中ニ代名詞ヲ含ム

者 棚ノ上ニ祭レルハ神ノ祠ナリ單句中ニ接續詞ヲ含ム者 あいらーき

兒は、は、の、右のち、をすへり同上 等ヲ示シテ充分復習

セシムベシ、

第十歩

ト、モ、ノ辭ヲ以テ名詞ヲ連接シ又ハ接續詞ヲ用ヒズシテ

名詞ヲ連接セシム、

例ハ山ト川トノ間ニ谷アリ、或ハ着物モ羽織モ帶モ簞

笥ニ入レ置ケリ、等ノ單文ニ於テト、モハ名詞ヲ連接ス

ルノ用ヲナセリ、又大根、蕪、午芣等ヲ野菜ノ類ト云フ、

菓物トハ柿、桃、梨等ヲ云フ、ノ二文ニ於テ上文ノ如ク、ト

モノ接續詞ヲ用ヒズシテ名詞ヲ連接スルコトアリ其他

此等ノ例証ヲ示シテ授クベシ、

第十一歩

ニシテナル詞ヲ以テ二單文ヲ連接スベシ、

例ハ春ハアタ、カナリ、冬ハサムシ、ノ二單文ヲ連接ス

ルニ、アタ、カナリノ動詞ノ語尾ヲ變ジテアタ、カニ  
シテトナセバ此ノ二單文ヲ連接シテ一文トナスベシ  
即チ春ハ暖ニシテ冬ハスゞシトナルナリ或ハ大坂ハ  
市ナリ、神戸ハ港ナリ、ノ二單文ヲ連接スルニモ同ジク  
ナリナル語尾ヲニシテニ變セバ容易ク連接スルヲ  
得ベシ、

第十二步

又或ハ等ノ接續詞ヲ以テ名詞ヲ連接セシム

例ハ筆ハ字又ハ畫ヲ書クニ必要ナリ、本箱ハ桐或ハ杉  
ノ木ニテ作ラル、等ノ如ク凡ソ又或ハ等ノ詞ハ同ジ種

類ノ詞ヲ重テ用ユルキ其間ヲ接續セシムル詞ナレバ  
他ノ接續詞ノ如クナラズ教師宜ク注意シテ其用法ヲ  
授クベシ、

第十三步

前各步ノ應用練習ヲナスベシ、

第十步ヨリ第十二步ニ至ル應用練習ノ題ヲ設ケテ復  
習セシムベシ、例ハ梅ト櫻トハ美シキ花ナリ、或ハ鯛モ  
鯖モ鯨モ皆海ニ産ム、ト、モノ辭ヲ以テ名、  
詞ヲ連接スルモノ 帽子、靴、洋服ハ生徒  
ノ入用ナル品ナリ、接續詞ヲ用ヒズシテ  
名詞ヲ連接スル者、 太陽ハ晝照ラス者ニ  
シテ夜ハ月輝ク者ナリ、ニシテノ辭ヲ以テ二  
單文ヲ連接スル者 商人ハ大抵算術

或ハ習字ニ熟セリ、又或ハ等ノ接續詞ヲ以等ヲ示シテ充分復習セシムベキナリ  
テ名詞ヲ連接スル者

### 第十四步

主格名詞一個ヲ省キ二單文ヲ連接セシム

例ハ雪ハ冬降ル者ナリ、雪ノ色ハ白シ、ノ二單文ヲ連接シテ一文トナスニ、者ナリ、ノ語尾ヲ者ニシテノ接續詞ニ變ジ雪ノ色ハ白シノ雪ハ第一主格ニ掲ゲ明了ナルヲ以テ之ヲ省キ代リトシテ其ノ字ヲ用ヒテ綴ルナリ  
即チ雪ハ冬降ル者ニシテ其色白シトナスナリ、或ハ孔雀ノ卵ハ甚ダ大ナリ、孔雀ノ卵ハ味ヒ佳ナリ、ノ二單文

ヲ連接スルニ大ナリ、ノナリヲニシテニ變ジ孔雀ノ卵ハ全然省キテ味ヒノ下ニ又ノ一字ヲ加ヘタランニハ巧ミニ連接スルヲ得ベシ即チ孔雀ノ卵ハ甚ダ大ニシテ味ヒ又佳ナリトナスガ如シ、

### 第十五步

動詞二個ヲ重テシ者ヲ練習セシム、

多クノ作文ヲナス中ニハ動詞一個ニテ意味ヲ十分尽サズルコトアリテ二個ヲ連用スルノ必要起ラン、例ハ男子ハ習字ヲ習ヒ終レリノ單文ニ於テ以上ノ意味ヲ動詞ニテ現ハスコトヲ得ズ、習ヘリトイヘバ習ヒツ、アルヲ

云ヒ終レリトイヘバ讀ミ終リタルヤ寫シ終リタルヤ  
習ヒ終リタルヤ明了ナラズ故ニ二個ヲ重子テ習ヒ終  
レリトイヘバ意味判然トシテ了解セン其他漁師ハ魚  
ヲ捕ラントテ小舟ヲユギ行ケリナド類例ヲ示シテ了  
解セシムベシ

第十六步

動詞ノ語尾ヲ變ジテ更ニテ辭ヲ添ヘ二單文ヲ連接セシ  
ム

例バ小兒ハ學校ニ行ク小兒ハ本ヲ讀ム以上ノ二單文  
ヲ連接スルニ行クノ語尾ヲキニ變ジ更ニテノ辭ヲ加

フレバ小兒ハノ三字ハ省キテ一文トナシ意味明了ト  
ナルベシ即チ小兒ハ學校ニ行キテ本ヲ讀ムトナスナ  
リ或ハ狼ハ山ニ棲ム狼ハ小獸ヲ食フノ二單文ヲ連接  
スルニ同ク棲ムノムヲミニ變ジテノ字ヲ加フレバ次  
ギノ狼ハチ省キテ連接スルヲ得ベシ即チ狼ハ山ニ棲  
ミテ小獸ヲ食フトナスガ如シ

第十七步

前各步ノ應用練習ヲナサシム

第十四步ヨリ第十六步ニ至ル應用練習ノ問題ヲ設ケ  
テ復習ヲナサシムベシ例バ杜鵑ハ夏ノ夜鳴ク其聲悲



尋常科第二學年

四十

シ 主格名詞一個ヲ省キ 風烈シク家屋ヲ吹キ倒セシ 動詞二個重テシモノ  
ハ川ニ下リテ水ヲ飲ム 動詞ノ語尾ヲ變シテ更ニテ辭ヲ添ヘ二單文ヲ連接スル者 等ヲ示シテ

十分復習セシム

### 第十八步

シテ辭ナル接續詞ヲ以テ二單文ヲ連接セシム

例ハ風烈シ、風木ヲ倒ス、以上ノ二單文ヲ連接スルニ、烈シノ下ニクシテナル接續詞ヲ添ヘ風ヲ省キテ一文トナスナリ即チ風烈シクシテ木ヲ倒ストナスガ如シ、或ハ東京ハ廣シ、東京ハ皇居ノアル所ナリノ二單文ヲ連接スルニ廣シノシチクニ變ジ、更ニシテノ詞ヲ添ヘテ

東京ハ廣クシテ皇居ノアル所ナリトナスガ如シ、

### 第十九步

トモ辭ヲ用ヒテ二單文ヲ連接セシム

例ハ日ニ一字ツ、習フ終ニ多クノ事ヲ覺ユベシ、以上ノ二單文ヲ連接スルニ習フノ下ニトモノ詞ヲ添ヘバ明ラカニ後ノ句ト連ヌルヲ得ベシ或ハ山高シ、上ルヲ得ン、ノ二單文ヲ連接シテ山高クトモ上ルヲ得ン、トナスガ如シ其他多クノ例ヲ示シテ了解セシムベシ、

### 第二十步

尋常科第二學年

四十一

ドモ辭ヲ用ヒテ二單文ヲ連接セシム、

例バ金魚ハ美ナリ、金魚ハ食用トナラズ以上ノ二單文  
ヲ連接スルニ美ナリ、ナリナレトナスキハ次ギノ  
金魚ハチ省キテ二單文ヲ連接スルヲ得ベシ即チ金魚  
ハ美ナレト食用トナラズトナスガ如シ凡ソトモ若ク  
ハドモナル辭ハ上ノ文句ト下ノ文句ト反對ノ意味ヲ  
ナスキノ接續詞ナレバ教師宜シク此意ヲ了シテ多ク  
ノ詞ヲ示シ教授スベシ、

第二十一歩

前各歩ノ應用練習ヲナサシム、

第十八歩ヨリ第二十歩ニ至ル應用練習ノ題ヲ出シテ  
復習セシムベシ、例バ鹿ノ角ハ堅クシテ細工ニ用ユシテ  
ル接續詞ヲ以テニ夏ハ暑クトモ夕方ハ涼シカラシ、トモ辭ヲ用ヒ  
單文ヲ連接スル者、  
接スル者ハ學問ヲ好メドモ、弟ハ之ヲ好マズトモ辭ヲ用ヒテニ等  
ヲ示シテ十分了解セシムベシ、

第二十二歩

前各歩ノ記事文ニテ二單文以上ヲ連接スベシ、

例バ梅ノ花ハ美麗ナリ、梅ノ花ハ香佳ナリ、ノ二單文  
ヲ連接シテ、梅ノ花ハ美麗ニシテ香ヒ又佳ナリトナシ  
或ハ金ノ色ハ黃ナリ、銀ノ色ハ白シ、銅ノ色ハ赤シ

以上ノ三單文ヲ連接シテ金ノ色ハ黄ニシテ銀ノ色ハ  
白ク銅ノ色ハ赤シトナスガ如シ、黄ナリヲニシテニ變  
ジ白シヲクニ變ズレハ、以上ノ如ク明了ニ連接スルヲ  
得ベシ其他多クノ例ヲ示シテ解明スベシ、

第二十三步

二學年最初ヨリノ應用練習ヲナサシム、

例ハ小サキ雀ガ噪シク鳴キ居レリ、傘ハ雨ヲ防グ道  
具ナリ、彼ノ美シク見ユルハ櫻ノ花ナラン、俎板ハ魚野  
菜等ヲ料理スルニ用ヒラル、等凡テ第一步ヨリ第十二  
步ニ至ルマデノ應用練習ヲナサシム、

第二十四步

二學年最初ヨリノ應用練習ヲナサシム、

例ハ海水ハ鹽水ニシテ川水ハ眞水ナリ、桑ハ田又ハ  
畑又ハ林ニ植ユル木ナリ、遅クトモ明日中ニハ歸ラ  
ズ、山吹ハ花咲ケドモ實ヲ結バズ等凡テ第十三步ヨリ  
第二十二步ニ至ル迄ノ應用練習ヲナサシム、

尋常科第三學年

此學年ヨリ初メテ日用書類之教授ヲナスベシ、凡ソ日  
用書類ヲ授クルニハ務メテ拮据繁縟ナル文語ヲ省キ

簡單明了ニ其用件ヲ達セシムルヲ以テ目的トナスベシ

第一步

日用書類ニテ候ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ、

日用書類ニ於テ候ナル詞ハ其用法最モ廣ク如何ナル  
文辭ニモ必要缺クベカラザル者ナリ故ニ最初ニ其教  
授ヲナサザルベカラズ、元來候トハマスト云フ俗語ニ  
同ジクシテ致、御座、申、等ノ動詞ニ添ユル詞ナリ例  
ヘバ

コノセキバン、アゲマス、ト云フ詞ヲ日用書類トナセバ

此石板進上致候ト云フガ如シ、尙ケフハ、ヨキテシ

キデアリマス、ヲ日用書類ニ改メシメ又ハ雀も燕も鳥に  
御座候ヲ談話ニ改メシムル等凡テ此等ノ例ヲ示シテ  
候ノ意味ヲ了解セシムベシ、

第二步

日用書類ニテ上げ候ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ、

元來上げナル詞ハ己レヨリ貴人ニ對シテ述ブル詞ニ  
シテ申、願ひ等ノ動詞ニ添ユル者ナリ例ハ  
ユノサケブンシヨ、イツサツ、サシアゲマスヲ日用書類  
トナセバ此作文書一冊差ト上げ候ト云フガ如シ、尙手  
紙を以て申上げ候ヲ談話ニ改メシメ又ハユノサカ

ナ、イナビ、イワヒトシテ、サシアゲマス、テ日用書類ニ改  
メシムルナド多クノ例ヲ示シテ解説スベシ、

第三步

記事文ニテハ辭ヲ用ヒ單文ヲ連接セシム、

例バ夏ニ至ル、草木茂ル、冬ニ至ル、木ノ葉落ツ、以上  
ノ四單文ヲ一文ニ連接シテ夏ニ至レバ草木茂リ、冬ニ  
至レバ木ノ葉落ツ、ト綴ルガ如シ或ハ幼時ニ學バズ、老  
テ後悔スベシ、ノ二單文ヲ連接シテ幼時ニ學ハザレバ  
老テ後悔スベシ、トナスガ如シ、右ノ外類例ヲ示シテ了  
解セシムベシ、

第四步

日用書類ニテ度ク候ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ、

度ク候トハ願ヒ、望ムノ意ニシテ申、致、仕り等ノ動  
詞ニ添ヘテ願ヒ望ムノ意ヲ表ハスナリ、例バ  
トクホン、イツサツ、オカリ、モウシタヒ、テ日用書類ニ改  
メテ讀本一冊御借り申、度ク候ト云フガ如シ、或ハ御  
頼み申、上げ度ク候ヲ談話ニ改メシメ、又ハオユシノ  
セツハ、オタナヨリ、子ガヒタフ、ゾンジマス、テ日用書類  
トナサシムル等ノ例ヲ示シテ十分了解セシムベシ、

第五步

日用書類ニテ兼ね候ナル助動詞ノ用法ヲ教授スベシ、

兼子候トハシカ子マス、ト云フ俗語ニ等シク、シテ致し、  
仕り等ノ動詞ニ添ユルナリ例ヘバ

サクラノハナハ、マダ、サキカ子マス、チ日用書類ニ改メ  
テ櫻代花は未だ咲き兼ね候、ト云フガ如シ或は來客あ  
りて他出致し兼ね候ヲ談話ニ改メシメ、又ハオオクリ  
ノシナ、トウケヤク、シカ子マス、チ日用書類ニ改ムルナ  
ド多クノ例ヲ示シテ教授スベシ、

第六步

三單文以上ヲ連接シテ一文トナスベシ、

例バ馬ハ人家ニ畜フ獸ナリ、馬ハ能ク車ヲ引ク、馬ハ又  
能ク人ヲ乗セテ走ル、以上ノ三單文ヲ一文トナセバ馬  
ハ人家ニ畜フ獸ニシテ能ク車ヲ引キ又能ク人ヲ乗セ  
テ走ルトナスガ如シ、此外多ク單文ヲ連文トナスニハ  
語尾ノ變化、接續ノ文詞ヲ添ヘテ綴ルヲ教ヘ又連文  
ヲ分解シテ二三ノ單文トナスヲモ授クベシ、

第七步

日用書類ニテべく候ナル助動詞ノ用法ヲ授クベシ、  
べく候トハマシヤウト云フ俗語ヲ示ス詞ニシテ、仕り、  
申し、致し等ノ語尾ヲ變ジテ未來ヲ現スナリ例ヘバ

メウテウハ、カナラズ、オトモシマシヤウ、ヲ日用書類ニ改  
メテ明朝は必ら<sup>ニ</sup>御供仕るべく候、トナスガ如シ尙御  
尋ね之品を明日到着致さべく候、ヲ談話ニ改メシメ又  
ハイツレ、ノチホド、マヘリマシヤウ、ヲ日用書類ニ改メ  
シムル等多ク例解ヲ添ユベシ、

第八步

日用書類ニテ間じく候、ナル助動詞ノ用法ヲ練習セシム  
間じく候、トハ行動靜止ノ決心ヲ慥ムル詞ニシテ文意  
甚ダ強ク申し致し、等ノ語尾ヲ變ジテ其文勢ヲ慥ムル  
ナリ例ヘバ、

イゴハ、シユツカウチ、オユタリマセヌヲ日用書類トナ  
シ、以後え出校を怠る間じく候、トナスガ如シ、其他御話  
は急度洩す間じく候ヲ談話トナサシメ又ハキミト、オ  
ヤノゴオンハ、ケツシテ、ロスレマセヌ、ヲ日用書類ニ改  
メシムベシ、

第九步

記事文ニテ故ニ爲ニ等ノ接續詞ヲ以テ單文ヲ連接セシ  
ム、

例ハ人ハ智慧アリ、人ハ万物ノ長ナリ、以上ノ二單文ヲ  
連接シテ、人ハ智慧アル故ニ万物ノ長ナリト綴ルガ如

シ、或ハお松ハ本ト石板ヲ買ヘリ、お松ハ母ヨリ金十錢  
ヲ貰ヘリ、以上ノ二單文ヲ連接シテ、お松ハ本ト石板ト  
ヲ買フガ爲ニ、母ヨリ金十錢ヲ貰ヘリ、トナスガ如シ、其  
他此例ニ類スル多クノ例解ヲ施スベシ、

第十步

日用書類ニテ置き候ナル助動詞ノ用法ヲ習練セシムベ  
シ、

置き候、トハオキマス、ト云フ俗語ニ等シクシテ頼み願  
ひ等ノ動詞ノ語尾ニ添ユル者ナリ例バ

ワタクシノ、シヨモツ、ホンバユヘ、イレオキマス、ヲ日用  
書類トナセバ私の書物は、本箱へ入れ置き候、ト云フガ  
如シ、其他行厨之用意は致し置き候ヲ談話トナサシメ  
或ハ、モハヤ、タビダチノヤウイ、イタシマシタ、ヲ日用書  
類ニ改メシムル等ノ練習ヲナサシムベシ、

第十一步

前各歩ノ日用書類ノ應用練習ヲナサシム、

- (一) 候
  - (二) 上げ候
  - (三) 度く候
  - (四) 兼ね候
  - (五) べく候
  - (六) 間じく候
  - (七) 置き候
- 以上ノ七助動詞ヲ用ヒテ交互單句ヲ綴ラシメ以テ練



習應用シ正確ナル觀念ト明了ナル意味ヲ授クベシ、而シテ前各歩ノ授業ト同ク或ハ日用書類ヲ話頭ニ改メシメ又ハ談話ヲ日用書類ニ改ムルナドノ方法ヲ探ルベシ、

第十二歩

前各歩ノ記事文練習ヲナサシム、

- (一) 辭ヲ用ヒテ單文ヲ連接スル者、
  - (二) 三單文以上ヲ連接シテ一文トナスモノ、
  - (三) 故ニ爲ニ等ノ接續詞ヲ以テ單文ヲ連接スルモノ、
- 以上前各歩ニテ教授セシ記事文ノ應用練習ヲナサシムベシ、例ハ善キ事ヲナセバ心自ラ樂シク、惡キ事ヲナ

セバ心自ラ苦シ、バノ橋ハ木石金ニテ作り、川ニ架シ、人ノ通行スルニ便ニス、三單文以上ノ連接猿ハ能ク眞似ヲナスガ故ニ人ニ畜ハレ、故ニ爲ニ等ノ技藝ヲ教ヘラル、ノ連接復習セシムベシ、

第十三歩

日用書類ニテ居リ候、ナル助動詞ノ用法ヲ練習セシム、  
居リ候、トハオリマス、ト云フ俗語ニ同クシテ、待ち、致し、等ノ動詞ノ語尾ニ添ユル詞ナリ、例ハ  
ナガ、ベウキニテ、ユマリオリマス、ヲ日用書類トナセバ、永々病氣にて困リ居リ候、トナスガ如シ、尙最早大

阪へ到着致し居り候ヲ談話ニ改メシメ或ハ、シヨセイ  
ガ、トウメガ子ニテ、ハウク、ナガメオリマス、ヲ日用書  
類ニ改メシムルナド多クノ例ヲ示シテ了解セシムベ  
シ、

第十四步

記事文ニテトテ、ニハ等ノ接續詞ヲ以テ單文ヲ連接セシ  
ム、

例ハ海ヲ涉ル、蒸氣船又ハ帆前船ニテ行クベシ、以上ノ  
二單文ヲ連接シテ海ヲ涉ラシニハ蒸氣船又ハ帆前船  
ニテ行クベシ、トナシ或ハ友吉ハ商賣ヲナス、大阪へ出

立セリ、以上ノ二單文ヲ連接シテ友吉ハ商賣ヲナサシ  
トテ大阪へ出立セリ、トナスガ如シ、此例ニ倣ヒ多ク適  
例ヲ示シテ教授スベシ、

第十五步

日用書類ニテ相成り候ナル動詞ノ用法ヲ練習セシム、  
相成り候、トハアヒナリマス、ト云フ俗語ニ等クシテ單  
獨ニ働作ヲ現ハス詞ナリ、例ハ  
オヒク、アタ、カニ、アヒナリマス、ヲ日用書類トナセ  
バ追々暖かに相成り候トナスガ如シ、或は朝夕は次第  
に涼敷く相成り候ヲ談話トナサシメ又ハユノアヒダ

ハ、イロく、オセワニ、アヒナリマシタ、ナ日用書類トナ  
サシムルガ如シ、

第十六步

日用書類ニテ候由ナル接續詞ノ用法ヲ練習セシム、

由ト云フ詞ハソ一ナト云フ俗語ニ同クシテ事ノ模様  
ヲ略知リテ之ヲ話スニ用ユル辭ナリ故ニ確カニ明了  
ナル事物ニ向ツテ或ハ自己ノ行爲ヲ云フニハ決シテ  
用ユベカラズ兒童ノ此ノ詞ヲ用ユル往々誤解スル  
多シ教授者宜シク注意スベシ例バ、  
サクラノハナハ、モハヤ、ヒラキマシタソウナ、オシラセ

マウシマス、ナ日用書類トナセハ櫻の花は、最早開き候  
由御知らせ申上げ候、ト云フガ如シ或ハ御令室御出  
産之由目出度存じ候、ヲ談話ニ改メシメ又ハサクヤ、ゴ  
コンレイ、ナサレタソウナ、オユワヒ、マウシ、アゲマス、ナ  
日用書類ニ改シムル等ノ方法ヲ採リ十分了解セシム  
ベシ、

第十七步

記事文ニテ主格ヲ現ハス辭ヲ省キテ文勢ヲ強ムルヲ  
練習セシム、

例バ、山ハ高クシテ、樹木ハ茂リ、海ハ深クシテ、魚類ハ棲

ム、以上ノ單文ヲ連接シテ一文トナスニ當リ主格ヲ示スハノ詞ヲ省キテ文勢ヲ勇健ナラシムベシ、即チ山高クシテ樹木茂リ、海深クシテ魚類棲ムト綴ルガ如シ其他此ノ例ニヨリ連文ヲ單文ニ分解セシメ若クハ單文ヲ連文ニ連接セシメテ教授スベシ、

第十八步

日用書類ニテ候間候ニ付、ナル接續詞ノ用法ヲ練習セシム、元來候間ト候ニ付トノ二接續詞ハ其意味殆ンド同シキ詞ニシテ文勢ニヨリ候間ヲ用ヒ或ハ候ニ付ヲ用ユル者ナリ若シ強テ此ノ二詞ヲ俗語トナセバ候間ハマ

スカラ候ニ付ハダカラ、又ハヤカラ、ナル詞ニ等シカルベシ、而シテ通常一文中ニ此二詞ヲ用ユルキハ前ノ接續詞ニ候間ヲ置キタラバ後ノ接續詞ニハ候ニ付ヲ置クベシ、教授者宜シク注意シテ其用法ヲ誤ラザラシムベシ、例バソマツナガラ、コノシンチヤ、シンゼウ、シマスカラ、オウケクダサレ、チ日用書類トナセバ、粗末ながら此新茶進上致シ候間御受納下さるべく候、ト改メシム或ハ又

キタルイツカハ、アキマツリヤカラ、オユシクダサレ、チ日用書類トセバ、來ル何日ハ秋祭ニ付御越下され度候

ト云フガ如シ、以テ候間候ニ付、二詞ノ意味ニ大差ナクシテ文勢ニヨリ用ユルヲ知ルベシ、其他此ノ例ニヨリ日用書類ヲ談話ニ或ハ談話ヲ日用書類ニ改メシムルノ方法ヲ取リテ教授スベシ、

第十九步

日用書類ニテ乍らナル詞ノ用法ヲ授クベシ、乍らトハ或ル他ノ詞ヲ一層精ク云フキニ用ユ即チ御面倒粗末、憚り等ノ語尾ニ用ユル詞ナリ例バソマツデ、アリマスガ、ユノシナ、シンゼウシマス、ヲ日用書類ニ改メテ粗末乍ら此品致候ト云フガ如シ、其他

憚りながら御安心下され度候ヲ談話トナサシメ或ハシツケイデスガ、メウニチ、ヒルカラ、オユシクダサレタヒ、ヲ日用書類ニ改メシムルナドノ方法ヲ取リ教授スベシ

第二十步

記事文ニテ又或ハ等ノ接續詞ヲ以テ單文ヲ連接セシム、又或ハ等ノ詞ハ、一文中ニ於テ徒ラニ用ユル詞ニアラス、事物ヲ叙スルニ、二ツ以上同シ事柄ノ重複セシキ其間ヲ接續スルノ詞ナリ例ハ、松ハ山野ニ自生スル樹ナリ、葉ハ四時蒼シ、松ノ材ハ家ヲ建テ、橋ヲ架スルニ用

ヒ、器具ヲ製スルニ用ユ、以上ノ單文ヲ一連文トナスニ當リ、松ノ効用ハ三段ニ分レタリ故ニ左ノ如ク接續スルナリ

松ハ山野ニ自生スル樹ニシテ其葉ハ四時蒼シ、松ノ材ハ家ヲ建テ或ハ橋ヲ架スルニ用ヒ又ハ器具ヲ製スルニ用ユ、トナスガ如シ、其他多クノ例ヲ示シテ了解セシムベシ、

第二十一歩

日用書類ニテ趣儀、事件等ノ代名詞ノ用法ヲ練習セシム、

例バメウニナヨリ、シ、ユツタナ、ナサル、ユトメデタフ、ツ

ンジマス、ナ日用書類ニスレバ、明日より御出立成され候趣、目出度存じ候趣ノ用法

コノアヒダ、オタノミ、マウシマシタ、ドフナリマシタカ、オタツ子、マウシマス、ナ日用書類トセバ

過日御頼み申し候儀如何相成候や御尋申上候儀ノ用法

オンマウシユシノ、フ、タ、バ、ナニ、テハユビイダシマス、ナ御申越之事直に手運び致すべく候事ノ用法

オマウシユシノ、イツケン、ジブン、ジンリヨク、イタシマス、ナ御申越之一件充分盡力致すべく候件ノ用法

右ノ例ノ外多クノ適用ヲ示シテ解得セシムベシ

第二十二歩

日用書類ニテられ候、させ候、ナル助動詞ノ用法ヲ授クベシ、

られ候ナル詞ハ受ケ働キノ詞ニ添へ、させ候トハ他ノ動作ヲ斷言スル詞ナリ例バ

アルジハ、四五日マヘヨリ、オホサカヘマイラレマシタ、  
ナ日用書類トセバ、主人は四五日前より大阪へ参られ候ト云フガ如シ、又ライゲツヨリ、オタクヘ、サンゼウ、イ  
タサセマス、ナ日用書類トセバ來月より御宅へ参上致  
させ申すべく候、ト云フガ如シ、其他多クノ例ヲ示シテ

以上ノ用法ヲ教授スベシ

第二十三歩

前各歩ノ日用書類ノ應用練習ヲナサシム、

(一) 居り候

(二) 相成り候

(三) 候由

(四) 候間候に付

(五) 乍ら

(六) 趣儀、事件

(七) られ候、させ候

以上七詞ヲ以テ十分應用練習ヲナサシメ、前各歩ニ示  
スガ如ク交互翻譯シテ十分ノ觀念ヲ養成スベシ、又三  
年生第一歩ヨリ教授セシ日用文語ヲ綜合シテ一文章  
ヲ組織セシメ、容易ニ此等必要ノ文語ヲ錯誤ナク編綴  
セシムル様復習練熟セシムベシ、

第二十四步

前各歩ノ記事文ノ應用練習ヲナサシム、

- (一) トテニハ等ノ接續詞ヲ以テ單文ヲ連接スル者、
  - (二) 主格ヲ現ハス詞ヲ省キテ文勢ヲ強ムルヲ練習スベシ、
  - (三) 又或ハ等ノ接續詞ヲ以テ單文ヲ連接スル者、
- 以上三箇ノ詞ヲ以テ現ハス文章ノ應用練習ヲナサシムベシ尚三年生第一歩ヨリ教授シ來リシ多クノ詞ヲ用ヒテ編綴應用ヲナサシムベシ、

尋常科第四學年

第一歩

日用書類ニテ候共、候得共、ナル接續詞ノ用法ヲ練習セシム、

候共、ハ記事文ノトモナル詞ニ等ク、候得共ハ記事文ノトモナル詞ニ同シ、例ハ「ヨキシナデハ、ナヒトモ、ゼヒイリヤウニツキ、シキウ、オクリクダサレ、ヲ日用書類トナセバ

良き品には之れなく候共、是非入用ニ付至急御送り下され度候、ト云フガ如シ、或ハ、ユノシナ、スユシテマリマ



スケレドモ、サシアゲマスカラ、オオサメクダサレ、チ日用書類トセバ此品些少に候得共、差上げ候間御受納下され度候トナスガ如シ此外右ノ例ニ倣ヒテ教授スベシ、

第二步

日用書類ニテ候へば候はゞノ用法ヲ練習セシム、  
候へば候はゞノ二詞ハ記事文ノハ接続詞ニ等クシテ其用法最廣キ者ナリ例バ  
ワケタマハレバ、イツサク  
シツノ、ダイシケンニ、ゴキウダイ、ナサレタソウナ、メデ  
タウ、ゾンシマス、チ日用書類トスレバ 承り候へば一  
昨日之大試験に御及第成され候由目出度存じ候 又

オテスキデアリマスレバ、ニサンニテ、オテツタロ、クダ  
サレ、チ 御手透に候はゞ二三日御手傳下され度候ト  
云フガ如シ、其他多クノ例ヲ示シテ教授スベキナリ、

第三步

記事文ニテ然レハ、然レバ等ノ接続詞ノ用法ヲ練習セシム、  
然レハトハ反對ノ意味ヲ示ストキ、然レバトハ決定ノ  
意ヲ現ハスキニ用ユル詞ナリ、例バ、ヘビハ、カヘルチノ  
ム、ケレドモ、ナメクシラ、チオソル、チ文語トナセバ  
蛇ハ蛙ヲ吞ム、然レハナメクシラ、チ恐ル、トナスガ如ク

又ヨキセウニハ、ヨクセンセイノ、オシヘチマモルユヘ、  
 イツノシケンニモ、キウダイセンユトハナヒ、ヲ文語ト  
 ナセバ、善キ小兒ハ能ク先生ノ教ヲ守ル然レバ何時ノ  
 試験ニモ及第セザルナシ、右ノ外單文ヲ連文トナシ、  
 連文ヲ單文ニ分クル等ノ方法ニヨリ十分了解セシム  
 ベシ、

第四步

日用書類ニテ隨て次に、等ノ接續詞ノ用法ヲ練習セシム、  
 例ハユノヂウハ、アツサキピシクアリマスガ、アナタハ  
 オサワリナク、オクラシノヨシ、イワヒ、アゲマスル、シタ

ガフテ、ワタクシモ、ブジニベンキヤウ、シテオリマスカ  
 ラ、ゴアンシンクダサレ、ヲ日用書類トセバ  
 此中は暑き厳しく候處貴兄には御障りなく御暮りの  
 由賀し上げ候隨て隨て次にト  
改ムルモヨシ私も無事に勉強致し居候  
 間御安心下され度候トナスガ如シ要スルニ隨て次に  
 ノ二詞ハ同シ場所ニ用ユル接續詞ニシテ時候ノ挨拶  
 先方ノ氣嫌ヲ叙シタル後、自分ノ安全ナルヲ云ハシ  
 トスルキ其中間ニ挾ム詞ナリ其他多クノ例ヲ示シテ  
 了解セシムベシ、

第五步

日用書類ニテ陳バ、借等ノ發端語ノ用法ヲ練習セシム、

例バ、オテガミ、ミマシタ、エー、ケヤツミオンナ、五六人イ  
リヤウノオモムキ、セウナシマシタ、兩三日ノウケニ、サ  
シムケマウシアゲマス、ナ日用書類トナセバ、

御手紙拜見仕候陳バ茶摘女五六人入用之趣承知致し  
候、兩三日の中に差し向け申し上ぐべく候、トナスガ如  
ク、又テガミテ、マウシアゲマス、サテ、ハ、ガユウベヨリ、  
ハライタニテ、ユマツテオリマスカラ、ゴクロウナガラ、  
タビイマ、オミマヘクダサレ、ナ

手紙を以て申上候、扱母事昨夜より腹痛にて困居り候

間御苦勞乍ら只今御來診被下度候、トナスガ如シ此外  
多クノ例ヲ示シテ充分教練スベキナリ

第六步

他ノ動詞ヲ省キテ單文ヲ連接セシム

是ハ一ノ動詞ヲ以テ他數個ノ同種類ナル動詞ヲ省ク  
者ニシテ例バ太郎ハ讀本ヲ買ヘリ、次郎ハ作文書ヲ買  
ヘリ、以上ノ二單文ヲ連接スルニ方リ買ヘリ、ナル動詞  
ハ双方ニ通シテ相同シキヲ以テ其一ヲ畧シ左ノ如ク  
連接ス、太郎ハ讀本ヲ、次郎ハ作文書ヲ買ヘリ、トナス  
ガ如シ其他此例ニ倣ヒ、筈ハ藪ニ生シ、養テ食ヘバ味甚

尋常科第四學年  
七十八  
ダ佳ナリ、松茸ハ山ニ生シ煮テ食ヘバ味甚ダ佳ナリ、ノ  
二單文ヲ連文トナサシメ或ハ櫻ハ春ニ牡丹ハ夏ニ花  
開キ共ニ美麗ニシテ人ニ賞翫セラル、ノ連文ヲ單文ニ  
分タシムル等ノ方法ニヨリ十分了解セシムベシ、

第七步

日用書類ニテ就てハ、尙又等ノ接續詞ノ用法ヲ練習セシ  
ム、  
例ハ、テガミデ、マウシアゲマス、サテ私一昨日ノダイシ  
ケンニ、及第シマシタ、ツイテハ高等科ニ、イリヤウノ書  
物、オトリヨセ、クダサレタイ、オタノミ、マウシマス、以上

ノ談話ヲ日用文トスレバ、  
手紙を以て申上候扱私義一昨日之大試験に及第致し  
候就ては高等科に入用之書物御取寄せ下され度御頼  
み申上候ト云フ文ノ就てハト云フ用ヒ處ヲ見ヨ又私  
事ヘウキノトキハ、トキトキオミマイクダサレ、ソノウ  
ヘマタ、メヅラシキ品々オクリクダサレ、アリガタウ、ゾ  
ンシマス、ヲ日用書類トセバ

私事病氣之節ハ時々御見舞下され尙又珍らき品々  
御授與に預り有難く存じ候トナスガ如シ、  
以上二例ニヨリ就ては、尙又等ノ用法練習ヲナサシム

ベシ、

### 第八步

日用書類ニテ先ハ、旁、右等ノ結束文語ノ綴リ方ヲ練習セシム、

先ハ、旁、右等ノ文語ハ一文ノ結末ニ於テ上文ノ大意ヲ結束シテ語ルベキ詞ニテ極メテ必要ノ文語ナリ例ハ  
貴兄センシツヨリ、ゴベウキノヨシ、イカバデアリマス  
カ、オタツ子シマス、ユノクワシ、オミマイノシルシニア  
ゲマス、マツハオミマイカタク、オウカバヒマウシマ  
ス、以上ノ談話ヲ日用書類トセバ

貴兄先日より御病氣之由如何に候や御尋申上げ候此  
菓子御見舞之印迄進上致し候、先は御見舞旁御伺申  
上候、トナスガ如シ、或ハ先ハ、ノ二字ニ換ユルニ右トナ  
スモ可ナリ、凡テ此例ノ如クシテ上文ヲ結束スルナリ  
教授者多クノ文ヲ授クルノ際這般ノ例ヲ示シテ了解  
セシムベシ、

### 第九步

記事文ニテ諸動物ノ事ヲ記スルヲ練習セシム、

凡ソ動物ノ事ヲ記セシムルニ方リテハ

- (一) 生育
- (二) 形状
- (三) 性質
- (四) 効用

以上ノ分類ニ注意シテ作ラシメ稍熟スルニ至リテハ  
 單ニ動物ノ特有ナル点ノミヲ記セシムルモ可ナリ、然  
 レモ一文中ニ必ズ以上ノ四箇点ヲ記セシメヨト云フ  
 ニアラズ、或ハ形狀ヲ畧スルコトモアルベシ、生育ヲ省ク  
 モ可ナリ唯四個点ニ注意スレバ文思漏出スルノ助ア  
 ルヲ云フナリ例へバ左ノ單文ヲ連文トナサシムルニ  
 方リ、生育、形狀、性質、効用等ヲ指適シテ十分明瞭ナル理  
 解力ヲ養フベシ、

虎ハ深山ニ棲ム獸ナリ以上 虎ノ形ハ猫ニ似テ大ナリ以上  
 虎ノ性ハ勇猛ニシテ小獸ヲ捕食ス以上 虎ノ肉ハ食用ト

ナリ皮ハ敷物トナル以上  
効用

ナ結合シテ連文トナセバ左ノ如クナルベシ

虎ハ深山ニ棲ム獸ニシテ形ハ猫ニ似テ大ナリ性勇猛

ニシテ小獸ヲ捕食ス其肉ハ食用トナリ皮ハ敷物トナル

右之例ニヨリ生徒ヲシテ了解セシメタラバ尙、猿、雀、鯉

蛇、等ノ文題ヲ出シテ作ラシムベシ、

第十步

日用書類ニテ招待文ヲ作ラシムルコトヲ練習セシム、

招待文トハ人ヲ招クノ文ニシテ招クベキ事故、招クベ

キ時日等ヲ遺忘ナク記セシムルヲ要ス例一二ヲ擧ゲン、

尋常科第四學年

八十四

祭日に人を招く文

拜啓陳ば來る五日は例年之通り氏神祭に付御子息召  
連れ早朝より御來遊待ち上げ候

櫻花満開に付友を招く文

弊園之櫻花今正に咲き初め候に付小宴相催し候間今  
日午後御來駕下され度候

右ノ外、月見よ人を招く文 芝居見物に人を招く文

菊見に人を招く文 天長節に人を招く文等凡テ招待  
文ニ係ル多クノ例多クノ文ヲ作ラシメテ其應用自是  
在ナラシムベシ、

第十一歩

日用書類ニテ誘引文ヲ作ラシムルヲ練習セシム、

誘引文トハ人ヲ誘ヒサソウ文ニシテ誘フベキ目的ヲ  
明了ニ記セシメ、若シ外遊ヲ誘フ文ナレバ其時日ヲ記  
セシムルヲ要ス例一二ヲ示サン、

會讀を誘ふ文

最早試験も近づき候に付明晩より拙宅に於て友人兩  
三名申合せ會讀致すべく候貴兄思召如何に候や御誘  
申し上げ候也

梅花見物を誘ふ文

尋常科第四學年

八十五

拜啓陳ば來る十五日は日曜休暇に付友人兩三名と梅  
花見物に罷越度貴兄如何に候や御返事待ち奉り候頭首  
右例ノ外入學を誘ふ文 博覽會見物を誘ふ文 雪見  
誘引之文 運動會に同行を誘ふ文等多クノ文題ヲ作  
ラシメテ十分誘引文ノ應用ヲ了解セシムベシ、

第十一歩

記事文ニテ諸植物ノ事ヲ記スルヲ練習セシム、

凡ソ植物ノ事ヲ記セシムルニ方リテハ、

- (一) 生育
  - (二) 形狀
  - (三) 種類
  - (四) 効用
- 以上ノ分類ニ注意シテ作ラシメ稍熟スルニ至リテハ

單ニ植物ノ特有ナル点ノミヲ記セシムルモ可ナリ然  
レモ作文スルニ方リ必ズ以上ノ四箇點ヲ記セヨト云  
フニアラズ唯四箇點ニ注意スレバ文思自ラ涌出スル  
ヲ云フナリ今一例ヲ示シテ其意ヲ了セシメン、左ノ單  
文ヲ連文トナセヨ

稻ハ夏種ヲ蒔キ秋實熟ス以上 稻ノ稈ハ弱ク柔カナリ  
以上 稻ノ實ハ米トイヒ人ノ常食トナル以上 稻ハ人家ニ  
形狀 缺クベカラザル植物ナリ、以上ノ單文ニハ種類ヲ加へ  
ズ之ヲ連文ニスレバ

稻ハ夏種生ヲ蒔キ秋實熟ス其稈形ハ弱ク柔カナリ其實効ハ



米トイヒ人ノ常食トナル實ニ人家ニ缺クベカラザル  
植物ナリ

右之例ニヨリ生徒ヲシテ了解セシメタラバ尙蓮、桑、珊瑚、松、柳、等ノ文題ヲ出シテ作ラシムベシ、

第十三步

日用書類ニテ贈與文ヲ作ラシムルヲ練習セシム、  
贈與文トハ物品ヲ贈リ若クハ與フルキ附ケ添ユルノ  
文ナリ例一二ヲ示サン、

新茶を贈る文

自製之新茶甚だ粗末に候へ共少々差上げ候間御笑味

下され度候也

梅花を與ふる文

庭園之梅花漸く開花致し候に付一枝進じ上げ候花瓶  
に挿み御慰下さらば大慶之至に存じ候頭首

右例ノ外洋酒を贈る文 本を與る文 菓物を贈る文

菊苗を與ふる文等多クノ文題ヲ與へテ作文セシムベ  
シ、

第十四步

日用書類ニテ見舞文ヲ作ルヲ練習セシム、

見舞文トハ先方ノ様子ヲ伺ヒ問フノ文ニシテ或ハ單

ニ見舞ノ文ノミヲ送り又ハ見舞文ト共ニ物品ヲ贈ル  
トモアリ見舞ベキ事柄ヲ記シ次ニ見舞ノ云々ヲ叙シ  
物品ヲ送ルヲ記スベシ其一ニ示サシ、

寒中見舞之文

嚴しき寒さに相成り候處、益御壯榮に渡らせられ候や、  
私方も無事に消光罷在候間御安心下され度候先ハ御  
伺申上候再拜

火災見舞之文

昨夜は殊之外なる大火にて貴家も御類焼之由驚入候  
白米壹俵御見舞として進上仕り候何れ後刻參着御様

子相伺ひ申すべく候也

右例ノ外暑中見舞之文 洪水見舞之文 大風見舞之  
文 病氣見舞之文等多クノ文題ヲ與へテ作ラシメ十  
分熟セシムベシ、

第十五步

日用書類ニテ祝賀文ヲ作ルヲ練習セシム、  
祝賀文ハ人ノ喜ビ事アルキ之ヲ祝シ之ヲ賀スルノ文  
ナレバ第一祝賀スベキ事柄ヲ叙シ次ニ祝賀ノ意ヲ述  
ベ物品ヲ送ル云々ヲ記スベシ例一二ヲ示サシ、  
安産を賀する文

今朝御合室にハ御安産殊に男子御出生之由目出度存  
じ候紅木綿壹反御祝ひの印迄に進呈仕候、尙母子共御  
保養專一に御座候頓首

入學を祝する文

貴兄にハ昨日より中學校へ御入學成され候由目出度  
賀し奉り候、算術書一部御祝義として進呈仕候頓首、  
右例ノ外婚禮祝ひの文 卒業を賀する文 開店を賀  
する文 新築落成を賀する文等多クノ文題ヲ作ラシ  
メテ十分練習セシムベシ、

第十六步

記事文ニテ器械器具ノ事ヲ記スルヲ練習セシム、

凡ソ器械器具ト名クベキ物品ヲ記セシムルニ方リテハ

- (一) 製作
- (二) 形状
- (三) 種類
- (四) 用法

以上ノ分類ニ注意シテ作ラシメ稍熟スルニ至レバ單  
ニ物品ノ特有ナル點ニ付テ作ラシムルモ可ナリ然レ  
モ作文スルニ方リテハ必ズ以上ノ四箇點ヲ記入セヨ  
ト云フニアラズ唯四箇ノ分類ニ注意セバ文思自ラ漏  
出シテ難澁セザルヲ云フナリ今一例ヲ示サシ、左ノ單  
文ヲ連接シテ一文トナセ

膳

膳ハ木ニテ製シ漆ヲ塗りタル者ナリ以上膳ハ大概方

形ナリ以上膳ハ食物ヲ列ブルニ用ユル家具ナリ以上

此ノ三單文ヲ連文ニ綴リテ左ノ如クス、

膳ハ木ニテ製シ漆ヲ塗り其形大概方形ニシテ食物ヲ

列ブルニ用ユル家具ナリ、

右ノ例ニヨリ生徒ヲシテ畧其大意ヲ了解セシメバ更

ニ算盤、鉄砲、針筆、鎌等多クノ文題ニ就テ習熟セシムベ

シ、

第十七步

日用書類ニテ返事、謝禮ノ文ヲ作ルヲ練習セシム、

返事文トハ諸ノ誘ハレシ文、問ハレシ文等ニ答フルノ

返事ヲ書スル文ナリ謝禮文トハ見舞ハレシ文ニ答ヘ

厄介ニナリシ禮ヲ述べ、物品ヲ贈ラレシニ答フル等ノ

文ナレバ感謝ノ意ヲ含ム者タラザルベカラズ、故ニ返

事ノ文ニ於テハ、行ク、行カヌ、成ル、成ラヌ、知ル、知ラヌ、許

ス、許サヌ等ノ正、反、確然ノ明答ヲ記スベク謝禮文ニ於

テハ謝禮スベキ事柄ヲ叙シ永ク感恩スルノ事ヲ記ス

ベキナリ例一二ヲ示サン、

梅見に誘はれ返事

明日梅見に御越成され候趣御誘ひ下され、私も至極同

意に付御伴仕度候拜復

月見に招かれ禮狀

昨夜は月見之御宴に御招待に預り大に愉快を極め候  
段深く謝し奉り候御家内衆へも宜しく御傳言下され  
度候頭首

右例ノ外夜學を催すとて誘はれ返事 雇人を頼ま  
れし返事 春遊を誘はれし返事 新茶を贈られし禮  
狀 物を貰ひし禮狀等ノ文題ニ付十分習熟了解セシ  
ムベシ、

第十八步

日用書類ニテ報知文ヲ作ルヲ練習セシム、

報知文トハ自己若クハ自家ノ出來事ヲ告げ知ラス文  
ナレバ明白簡易ナルヲ要ス例一二ヲ擧ゲン、

轉宅を報する文

私方都合に依り何郡何町村何番地へ轉宅仕候に付取  
敢へて御報知申上候也

病氣全快を報する文

手紙を以て申上候私義御承知之通り胃病にて困り居  
り候處目今は全く快氣に赴き候に付御安心下され度  
此段御知らせ申上候頭首

右例ノ外及第を報せる文 歸郷を報せる文 開店を知らす文 急病を知らす文等多クノ文題ニ付テ作文セシメ十分習熟セシムベシ、

第十九步

日用書類ニテ依頼文ヲ作ルヲ練習セシム、  
依頼文トハ自己ノ欲スル處ヲ先方ニ依頼スルノ文ナレバ依頼スルノ事故ヲ明白ニ記シテ先方ノ諾否ヲ求メ或ハ商品等ノ買入修繕等ナレバ只明瞭ニ自己ノ意ヲ通ズルヲ以テ足レリトス例一二ヲ示サン、

雇男之世話と頼む文

拜啓陳ば本年は農業も手廣に致し度存じ候に付上等雇男二人御手先にて御周旋下され度御頼申上候頭首  
時計直しと頼む文

此時計破損致し候に付來る十日迄に御直し置下され度候也

右例ノ外買物を頼む文 洋服仕立を頼む文 新聞配達を頼む文 桑苗買入を頼む文等多クノ文題ニ付作文セシメ十分練習セシムベシ、

第二十步

記事文ニテ地理人物等ヲ記スルヲ練習セシム、

記事文ニテ動植物器物等ノ記ヲ作ルコトニ熟セバ讀本  
中所々ニ散見スル地理人物等ノ事ニ付又ハ地理書、歴  
史ニ記載ゼシ事ニ付或ハ教師ガ右等ノ事柄ヲ談話セ  
シ者ニ付其大体ヲ記セシメ以テ此等ノ事柄ヲ明了ニ  
思想中ニ貯フルコトヲ得セシムベシ、今單文ヲ連接シテ  
連文トナスノ一例ヲ示サン、

東京

東京ハ武藏ノ國ニアリ、東京ハ皇居ノアル所ナリ、  
東京ハ人口百万余アリ、東京ハ日本第一ノ大都會ナリ、  
以上ノ四單文ヲ一連文トナセバ

東京ハ武藏ノ國ニアリ、皇居ノアル所ニシテ人口百万  
余アリ、日本第一ノ大都會ナリ  
右ノ例ニヨリ富士山 横濱 淀川 大阪等ノ記事文ヲ  
作ラシムベシ、  
今談話ヲ文体ニ譯スルノ例ヲ示サン、

神武天皇

神武天皇サマハ、我國デ一番始メノ天子サマデアツテ、  
九州カラオユリ、タチ成サレ、モロノワル者ヲ討ケ  
平ゲナサレ、大和ニオハイリニナツテ、橿原ノ宮デ始メ  
テ天子ノ位ニオツキナサレタ、

右ノ談話ヲ譯セバ左ノ如シ、

神武天皇ハ我國創業ノ帝王ニシテ九州ヨリ起リ諸亂賊ヲ討テ平ゲ玉ヒ、大和ニ入り橿原ノ宮ニテ始メテ皇位ニ即キ玉フ、

右ノ例ニヨリ豊臣秀吉 楠正成 仁徳天皇等ノ記事文ヲ作ラシムベシ、

要スルニ種々ノ方法ヲ用ヒ此種作文ノ妙味ヲ解セシムベシ、

### 第二十一歩

日用書類ニテ返濟文ヲ作ルヲ練習セシム、

返濟文トハ金錢物品ヲ借り置キ後返却スルキ添ユル文ナレバ、先ツ借用セシ謝辭ヲ述べ次に返濟スルヲ記スベシ例一二ヲ示サン、

#### 書物を返す文

御大切之書物永々御恩借に預り有り難く謝し奉り候、只今返濟仕り候間御受取下され度候頓首

#### 火鉢を返す文

一昨日は客來に付御大事之火鉢御無心申し有り難く存じ候只今御返と申候間御入手下され度候何れ後より參堂御禮申述べ候也



右例ノ外傘を返す文 金子返濟之文 洋服を返す文  
新聞紙を返す文等多クノ文題ニ付テ作文セシメ十  
分習熟セシムベシ、

第二十二歩

日用書類ニテ問合セ文ヲ作ルヲ練習セシム、  
問合セ文トハ先方ニアル万般ヲ問ヒ合セスル文ナレ  
バ明了簡易ヲ要スルヲ勿論ナリ例一二ヲ示サン、  
入學期を問合す文  
私義御校へ入學致度心組に候間、入學之期日は何日頃  
に候や、折返し御返書下され度候頃首

在宅之有無を問合す文

明後日は是非要談之れ有り貴兄に面會致志度候處該  
日は御在宅に御座候や否や御報らせ下され度候也  
右ノ外忘れ物を問合す文 縁談に付問合す文 借家  
之有無を問合す文 試験之期日を問合セ文等ノ文題  
ニ付テ作文セシメ十分習熟セシムベシ、

第二十三歩

日用書類ニテ催促文ヲ作ルヲ練習セシム、  
催促文トハ先方ノ人が自分ニ對シテ成スベキヲ成  
カゞル爲メ其注意ヲ促シ成スベキヲ成サシムル文

ニテ貸金ノ返濟ヲ催促シ、荷物ノ不着ヲ催促スル等ニ  
用ユ、例一二ヲ示サン、

貸金を催促する文

豫て御用立申し候金子之義己に返濟日限も相過ぎ候  
得共、未だ何とも御申出之れなく來る何日迄には是非  
入用に付御返濟相成度此段御催促に及び候也

新聞配達を催促する文

貴社新聞代三ヶ月分爲替を以て送金仕り御遞送を依  
頼致志置候處未だ一枚も到着致さざ至急御取調之上  
御送下され度候也

右ノ外荷物の延引を催促する文 誂へ品の製造を催促  
する文 洋服調製を催促する文 博覽會へ出品を促  
す文等ノ文題ニ付作文セシメテ十分習熟セシムベシ、

第二十四步

記事文ニテ庶物ノ事ヲ記スルコトヲ練習セシム、

庶物トハ器具器械ト名ツクベキ者ニアラズシテ大ニ  
世ノ便利ヲ來タシ利益ヲ與フル物ヲ云フ、新聞紙、避雷  
針、書物等ヲ云フ、今單文ヲ連接スルノ例及ビ談話ヲ文  
体ニ譯スルノ例ヲ示サン、

新聞紙

新聞紙ハ日々ノ出來事ヲ記載シテ廣ク世人ニ報導スル者ナリ、

新聞紙ヲ讀メバ弘ク事物ヲ知り智識ヲ増ス者ナリ、人々ハ必ズ新聞紙ヲ購讀セザルベカラズ、

以上ノ三單文ヲ一連文トナセバ、

新聞紙ハ日々ノ出來事ヲ記載シテ廣ク世人ニ報導スル者ニシテ之ヲ讀メバ弘ク事物ヲ知り智識ヲ増ス者ナレバ、人々必ズ之ヲ購讀セザルベカラズ

巡查

巡查ハ人々ヲモリスル役人デアツテ、火事ヤ水難ニ氣

ヲ付ケ喧嘩ヤ亂暴人ヲトリシヅメ或ハ盜賊ヲ捕ヘテ裁判所ニ渡スナドノヲ掌ルモノデアリマス、

以上ノ談話ヲ譯セバ

巡查ハ人民ヲ保護スル役人ニシテ火事水難ニ注意シ喧嘩亂暴人ヲ取鎮メ或ハ盜賊ヲ捕ヘテ裁判所ニ渡ス等ノ事ヲ掌ル者ナリ、

右ノ例ニ依リ郵便 橋 電信機 ランプ 鉄道等ニ付キ作文セシメテ應用自在ナラシムベシ、

附錄

●受取文

受取文ヲ書カシテ額目ヲ示ス

(一) 受取ルルキ金額及物品

(二) 受取ルル事

(三) 受取ルル年

(四) 年月日及下

(五) 先方

(六) 解形

記(又ハ證)

附錄

一金拾貳圓也

米二石代

右代金正ニ受取候也

明治何年何月何日

何町村何番地

何

某

印

何町村

何某殿

右ノ例ニ倣ヒ多クノ受取文及ビ書出文ニテ受取ル等ノ方法ヲ了解セシム、

明治廿五年七月卅一日印刷  
明治廿五年八月 十六日出版

定價金十錢

大坂市東區備後町四丁目八十一番屋敷

大庭和助

發行兼印刷者

萩野重次

著作者

大坂市備後町五丁目八番邸

盛文館

發兌書林

大坂市東區備後町四丁目

吉岡平助

全

大坂市東區備後町四丁目

梅原龜七

全

大坂市東區北久大夏町四丁目

柳原喜兵衛

全

神戸市元町五丁目廿三番邸

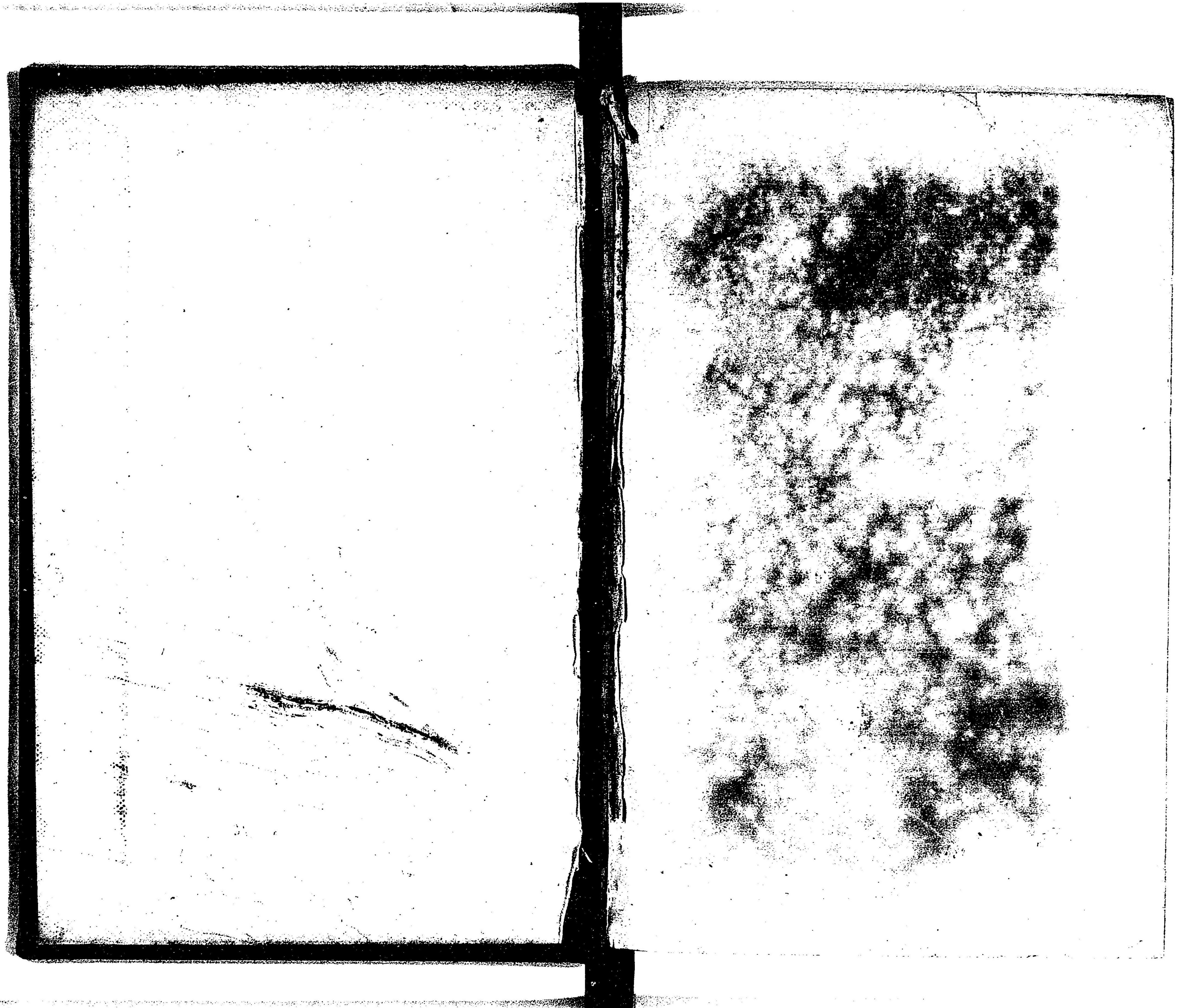
吉岡支店

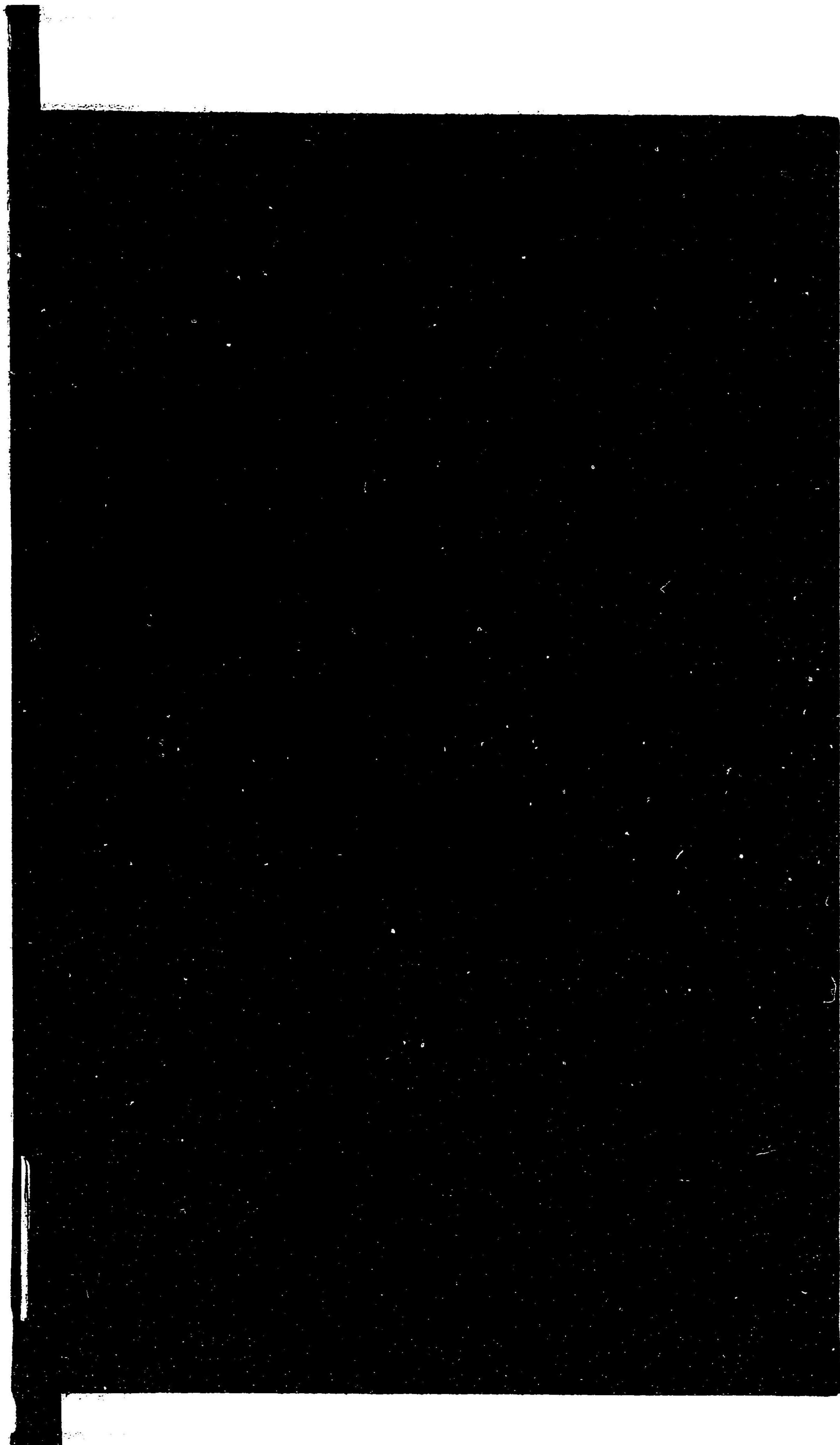
全

版權登錄

版權所有







048237-000-4

特19-958

作文教授細目規範

萩井 重次/著

M25

BEF-2252

